

ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

9

2024

September

基本的教育と識字率向上月間

Nepal & Vietnam
学校へと、つなぐ道

『ロータリーの友』をフォローする
地区のリーダーたち



分断された世界を癒す 2025年 会長主催平和会議

2月20日～22日、イスタンブール（トルコ）にて、ステファニー・アーチック国際ロータリー会長が平和会議を主催します。この特別行事で、新しいロータリー平和センターの設立を祝い、平和構築のためのネットワークを築きましょう。

平和を推進するロータリーの取り組みをさらに広めるため、平和会議にぜひご出席ください。

- 分断された世界における平和
- 持続的な平和の構築
- テクノロジー、メディア、平和構築
- 平和構築における環境問題



ご登録はこちらから：rotary.org/istanbul25



CONTENTS

9月 は 基本的教育と識字率向上月間
ロータリーの友月間

RI RI 会長メッセージ 4
RI 会長 ステファニー A. アーチック

特集 基本的教育と識字率向上月間 7

Nepal & Vietnam 学校へと、つなぐ道

橋本 RC 喜多啓允・辻 俊之／
豊橋ゴールデン RC 鈴木紳昭

特集 ロータリーの友月間 14

『ロータリーの友』をフォローする 地区のリーダーたち

学びとインスピレーションを提供する
マガジンを目指して

ロータリーの友地区代表委員
第 2510 地区 中村越子／第 2580 地区 相澤 愛

友地区代表委員から一言！

PICK OUT PROJECT 20

共に過ごし、共に生きる

東京山の手 RC の推し活 Togethers

～ 例年、クラブで続ける活動の在り方

東京山の手 RC 青柳 浩・浅野健太郎

心は共に 東日本大震災 24
ロータリー希望の風奨学金
—— 私たちロータリアンは、あの日のことを決して忘れません。
13 年前のあの日から……

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会顧問
地葉新司

よねやまだより 28
ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識
—— 寄付金・財政編 ——

ELEVATE ROTARACT 39
相模原ローターアクトクラブ

NEW GENERATION 40
ローターアクター 嵐 脩真／ローテックス 熊本勇太郎

- 6 ● ロータリーとは
- 30 ● People of action around the globe
- 32 ● ROTARY AT WORK
- 41 ● パズル de ロータリー／詰め基
- 42 ● エバンストン便り
- 43 ● 財団管理委員長からのメッセージ **RI**
● 2025 年国際大会 **RI**
- 45 ● 内外よろず案内／パズルの答え／詰め基の答え
- 48 ● 投稿規定
- 49 ● お知らせ 新ロータリー衛星クラブ／新 RC／新 IAC／
IAC 名称変更／IAC 終結／『友』電子版のご案内／2024 -
25 年度版『ロータリーの友手引書』について／地区別クラブ数・
会員数一覧表／『友』10 月号主要記事予定
- 51 ● 日本ロータリー分布図／奥付

● 本誌中の RI は国際ロータリー、RC はロータリークラブ、RAC はローターアクトクラブ、IAC はインターアクトクラブの略です。
● 縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。 ● 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。
● 公式ロゴ、誇りのシンボル、簡易公式ロゴ、および ROTARY は、国際ロータリーが保有する商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。



スロバキアにある
アーチックRI
会長の祖母の家
↓



The meaning of family

The Magic of Rotary is belonging, and it's a feeling that can appear when you least expect it.

Earlier this year, I was in Slovakia serving as a president's representative during a six-week trip through Europe. When I wrote to Katarina Cechova, governor of District 2240 at the time, I mentioned that my grandmother Veronica Zilka grew up in a small village in the area before settling in the U.S.

It wasn't long before Cechova tracked down my grandmother's village, Jakubova Vol'a. She even organized a visit for me, where I received an unforgettable Slovakian welcome.

When I entered the community center of Jakubova Vol'a, a small crowd of people dressed in traditional Slovakian clothing greeted me. They sang with beautiful and powerful Central European voices that reminded me of my grandmother.

A lot of families play cards or games when they get together. When I was young, my father would pick up his accordion and lead my family in song. My grandmother would sing along with her impressive voice.

When I walked into the community center and heard traditional music from my childhood — when I saw a woman play the accordion the way my dad played — I suddenly felt like a little girl sitting at my grandmother's house in Monessen, Pennsylvania. I burst into tears of joy at the memories.

But the magic didn't stop there. District Governor Cechova really outdid herself. A local genealogist worked with a videographer to make a short film about my grandmother. We watched the video together in the community center.

When the video ended, I turned around and saw a

man standing in the back of the room. I quickly learned that this stranger, Frantisek Zilka, was my second cousin. His grandmother and mine had been sisters. I felt like I had been struck by lightning.

I visited my newfound cousin's home, which happens to be the home where my grandmother was born. There, he shared old photographs I had never seen of my dad, my uncle, and my grandmother.

Since then, I can't stop thinking about my family of Rotary. When I refer to you as my family, I'm not just being kind. I really think of everyone in Rotary as my family. But I never would have imagined that my Rotary family would introduce me to long-lost personal family.

Sitting in that community center listening to traditional Slovakian music from my childhood filled me with joy and a profound sense of belonging. I am so grateful to District Governor Cechova and everyone who helped create that magical experience.

As members of Rotary, we have a unique opportunity to share the same magic with each other and with the world. I encourage you to consider how you can help spread that magic and ensure other members of your club — other members of our Rotary family — feel like they truly belong.

STEPHANIE A. URCHICK

President, Rotary International

PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ

RI 指定記事

ファミリーの意味

ロータリーのマジックとは「帰属意識 (belonging)」であり、それは思いがけないときに生じるものです。

今年の初め、RI 会長代理として6週間かけてヨーロッパを巡った際、スロバキアを訪れました。私の祖母ベロニカ・ジルカがアメリカに移住する前、この地域の小さな村で育ったことを、当時、第2240地区ガバナーだったカタリナ・セコバさんに伝えたところ、彼女は祖母の故郷の村、ヤクボバ・ヴォルアを探し当て、同村の訪問も企画してくれました。そこで私は忘れることのできない歓迎をスロバキアの人々から受けました。

村の公民館に入ると、スロバキアの伝統衣装を身にまとった人たちが美しく力強い中欧の歌声で出迎えてくれ、私は祖母のことを思い出しました。この村の多くの家族は、集まるとトランプやゲームをして遊びます。私が幼い頃は、父の弾くアコーディオンに合わせて家族で歌ったものです。祖母も素晴らしい声と一緒に歌っていました。

すると、懐かしい曲が聞こえてきました。父のようにアコーディオンを弾く女性を目にした時、一瞬にして、ペンシルベニア州モネセンの祖母の家にいるような気分になりました。よみがえった思い出に、私はうれしくて涙を流しました。

しかし、マジックはそれで終わりではありませんでした。セコバさんの配慮により地元の家系図の専門家が映像作家と協力し、祖母についての短編映画を製作してくれていたのです。私たちは公民館でそのビデオを一緒に見ました。

ビデオが終わって振り返ると、部屋の後ろに一人の見知らぬ男性が立っていました。すぐに、この人が私のほとこのフランティセク・ジルカさんであることを知りました。

彼の祖母と私の祖母は姉妹だったのです。まるで雷に打たれたような気がしました。

私は、フランティセクさんの家を訪ねました。そこは偶然にも、私の祖母が生まれた家だったのです。彼は、私が見たことのない、父や叔父、祖母の古い写真を見せてくれました。

このようなことを経験してからというもの、ロータリーファミリーのことが私の頭から離れません。皆さんのことをファミリーと呼ぶのは単なる寛大な気持ちからではありません。ロータリーにいる全ての人のことを本当にファミリーだと思っています。とはいえ、ロータリーファミリーが、長い間つながりが断たれていた私の家族を紹介してくれるとは想像もしていませんでした。

懐かしいスロバキアの伝統音楽を公民館で聞きながら、私は喜びと深い帰属意識に満たされました。セコバさんをはじめ、このような素晴らしい体験の実現に協力してくれた全ての人々に心から感謝しています。

ロータリー会員である私たちには、このようなマジックを互いに、そして世界と分かち合う、またとない機会があります。このマジックを広め、クラブの会員やロータリーファミリーの他の会員も「ロータリーが自分の居場所」だと感じられるよう、自分にできることをぜひ考えてみてください。

ステファニー A. アーチック

2024-25年度 国際ロータリー (RI) 会長

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それから、志を同じくするロータリークラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,526、会員総数1,144,423人（2024年7月16日国際ロータリー公式発表）に達しています。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

なお、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,194、会員数81,796人（2024年6月末現在）となっています。

2024－25 年度会長テーマ

THE MAGIC OF ROTARY



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



9月は
基本的教育と識字率向上月間

Nepal & Vietnam

学校へと、つなぐ道

「世界の果ての通学路」というドキュメンタリー映画が日本で公開されたのは2014年。何時間もかけ悪路を通学する子どもたちの様子が描かれました。

世界には、“学校”はあるものの、さまざまな事情から通えない、または、通うのに苦労している子どもたちがいます。今回の特集では、そうした子どもたちの抱える問題の解決に手を差し伸べる、日本のロータリークラブをご紹介します。





Case-1 Nepal

神々の棲む国ネパールで 笑顔と出会う教育支援



橋本 R C 喜多 啓允

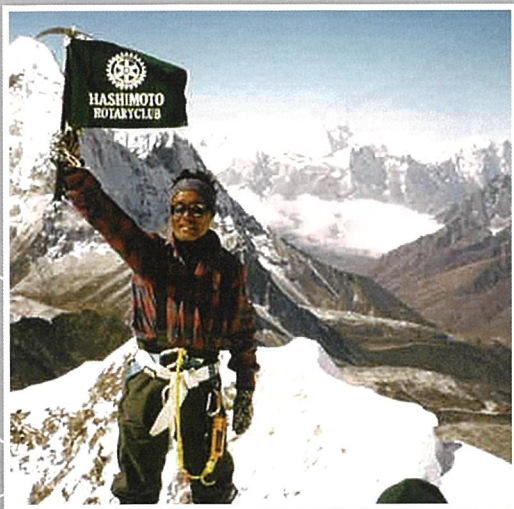
■ きっかけはヒマラヤ登山

中国とインドに挟まれたネパールには、世界遺産を構成する寺院や仏塔などが点在。ブッダの生誕地ルンビニがあり、荘厳なヒマラヤの山々を望む景観も相まって「神々の棲む国」と称されます。そのネパールと私の関わりは2000年9月、趣味にしている登山で、友人とヒマラヤへ向かったことが始まりでした。

その登山後、わが第2640地区と第2680地区(兵庫県)が合同で建設していた「岩村記念病院」の進捗状況を確認してくるよう、当時、建設委員長だった故・米澤修氏(堺泉ヶ丘 R C) から依頼を受けました。首都カトマンズから東へ約15km行ったバクタプルという所で、外観の約8割が完成していました。私は、その素晴らしい奉仕活動を目の当たりにして、深く感動したのです。

帰国後しばらくして、地区主導で行ってきた国際奉仕活動は、国際ロータリーの意向を受け「クラブ主導で」との方針に変わっていきました。クラブ主導での国際奉仕はハードルが高く、「橋本ロータリークラブ(R C)にできることが、果たしてあるだろうか?」と悩みました。話し合いを重ねた結果、当時、アジアの最貧国の一つで、私が訪れたネパールを支援することに決めました。

支援について話し合っていた時、たまたまネパールの友人から「子どもが通う学校の数、全く足りていない」と耳にしました。それを聞いて思い出したのは、ヒマラヤ登山中、危険とも思える山道を1時間以上かけて通学する子どもたちの姿でした。ネパールの識字率が低いことは国際機関の報告にもありますし、教育への関心が薄いのでは?と思う方がいるかもしれません。しかし、現実には、子どもたちは長い道のりを歩いてまで学校に通



ヒマラヤ登山中の喜多氏



岩村記念病院



2010 年、最初に支援したパシュパティ小学校とその子どもたち

おうとしていました。その様子を目にした時に私の胸に
込み上げた熱いものが、再び思い出されたのでした。

■ ネパール再訪と学校建設支援の始まり

09 年 5 月、私たちは再びネパールへ。首都カトマンズを訪問し、日本の他の慈善団体の支援を受けた学校を数カ所視察しました。しかし、カトマンズは物価が高く、クラブの予算では、当初計画していた建設を含む学校支援に遠く及ばないと分かりました。帰国後、予算内のできる支援を模索。現地で学校建設を推進する「さいたまユネスコ協会」の協力を得ることができ、地方の村の学校を支援することになりました。

翌 10 年、最初の支援は国内西部パルパ郡にあるパシュパティ小学校で、既存の校舎から少し離れた山地を切り開き、2 教室を建設しました。村には 92 世帯が暮ら

していましたが、1 世帯につき 1 人が計 10 日間の勤労に従事し、延べ約 920 日かけて整地したそうです。教室が完成し、私たちが訪れた時の、村人、子どもたちの歓迎は大変なもので、会員皆で感動を共有しました。

この活動をきっかけに、垣見一雅氏（通称・OK バジ）との出会いがありました。垣見氏はパルパ郡を中心に三十数年間、貧しい人たちの支援を続けている日本人。1997 年にネパール国王から勲章を受け、2022 年には大統領からも表彰されたネパールの有名人です。彼の協力が得られたことで、支援の質も上がりました。現在も連絡を取り合い、良い関係が続いています。

12 年に支援したバランディ小学校は、校舎の規模により 1～3 年生分の児童数を受け入れるのがやっとでしたが、2 教室を増設したことで、正規の小学校として 1～5 年生まで受け入れられると、大変喜ばれました。

■ ネパール地震の発生。地区義援金を携えて

15年4月25日、ネパールでマグニチュード7.8の大地震がありました。私たちは同月28日に新たな支援活動で現地へ出発の予定でしたが、急きょ中止。被災地の復興支援のため、地区では義援金を募り、橋本RCがその浄財180万円を託され、届けることになりました。

10月28日、ネパールの地に降り立ちました。カトマンズをはじめ、中部のポカラといった大きな街は鉄筋コンクリート造りの建物が多く、どうやら被害は抑えられたようでした。一見、地震の影響を感じることもなく、一部に仮設のテントが見られた程度でした。しかし、世界遺産の仏塔や寺院にはかなりの被害が認められ、地方に足を延ばせば、昔ながらのれんが造りの建物が多く、被害も甚大でした。

私たちはパルパ郡の都市タンセンを訪問。パルパRCの例会に出席し、同クラブの名誉会員となっていた垣見氏にその一部を託したところ、倒壊し緊急を要する学校の修復に使いたい、とのことでした。

その後、再び首都に戻り、カトマンズRCへも義援金を寄贈。当時の会長はネパール米山学友会の会長でもあり、日本語での会話も弾みました。こうした経験から、日本のロータリーが施した善意の種は着実に花を咲かせていると、身をもって知らされます。

続いてパタン・ダルバール・スクエアRCを訪ね、義援金を寄贈。ここでも大変感謝され、後日、修復後の学校の写真を送っていただきました。当時、義援金の公的窓口は政府で、なかなか民間の施設に支援の手が届かないと、各地で不満の声を聞きました。そんな中、直接赴いて義援金を渡し、現地のクラブが活躍できる状況ができたことにも、非常に感謝されました。



ネパール大地震から約半年後、パルパRCを訪れ、学校建設支援で親交を深める垣見氏（左）に直接、義援金を手渡しました



震災後、がれきの残る首都カトマンズ

■ 教室だけでは駄目。新たな取り組みへ

その後も、橋本RCでは学校建設支援を続けました。しかし、地震以降、建設費、材料費、人件費などが高騰し、毎年度の継続支援は難しくなっていました。会員以外からも、地元のお寺の住職から毎回多額の寄付を頂き、各会員の友人からも支援を得て、毎回30万～50万円を支援のために拠出しています。地震後には、現地で1,000枚の毛布を配り、教室の机や椅子の購入など、学校建設以外にも活用させてもらっています。

そうした活動を通して、各学校の様子をつぶさに見てみると、高学年になるほど出席率が低下することに気付きました。理由は、ある程度の識字を身に付けた子どもは、さらに勉学に励むというより、労働力にされているという現実でした。その一因となっていたのが、日々の燃料となる薪集めでした。片道2～3時間かけて、森林まで集めに行く子どももざらにいました。

そこで、子どもたちの労働軽減のために、2016年からバイオガストイレの設置にも着手。バイオガストイレは、人や家畜の排泄物を地下タンクに貯め、メタンガ

■ ネパール支援の強み ■

私も、初回の2010年から全てのネパール学校支援事業に参加してきました。喜多さんと“ネパ友”の皆さんと一緒に、15年近くにわたり現地での変化を肌で感じてきましたが、継続することで気付ける、支援すべき本質の部分を、この事業では無駄なく、的確に行っているように思います。さらには、そのことをクラブで共有し、全面的な支援として継続へとつなげられていることが、何よりの強みだと思います。

継続による気づきを生かした事業

橋本RC会長エレクト 辻 俊之



◀ 教室完成！ 垣見氏（右）と



◀ ネパールの子どもたちと

スを発生させ、1日2時間ほどですが、調理用ガスとして利用する仕組みです。薪を燃料にすれば、煙が家に充満し、呼吸器疾患を引き起こす一因になります。それが幼児の死亡率を高めているとの指摘があり、政府も補助金を出してバイオガストイレの設置を奨励しています。

さらに、地下タンク内の上澄み液は野菜作りに有用な

液肥となり、薪の使用量を減らせれば、森林伐採も軽減されると期待されます。意外だったのは、ご夫人方から「不意の来客があっても火をおこす必要がなく、すぐに軽食やお茶でおもてなしができる」と喜ばれたこと。バイオガストイレの設置は、子どもたちの仕事軽減だけでなく、家事軽減、喜びにも寄与することが分かりました。



設置したバイオガストイレ（左）と、そこから発生したメタンガスを使って、調理用のコンロに点火

■ 変わりゆくネパール、子どもたちと共に

橋本 R C が学校建設支援を始めてから 15 年目。パシユパティ小学校の校舎建設に始まり、同校の 2 階部分増設、バランディ小学校、シリジャナ初等中学校、プラバット高等中学校、ジャナディープ高等中学校、ジャナウジョル小学校の計 7 件を支援。バイオガストイレの設置は 159 基になりました。

最近、支援を続けるパルパ郡では、子どもの数が減少しています。主な原因は親たちの出稼ぎで、放棄された耕作地があちらこちらに見られるようになってきました。15 年のネパール地震の被災地は、ほぼ復興したように見えます。地震以前には見ることもなかった重機が世界中から寄せられた結果、その影響か、地方でも道が整備され、近代化を肌で感じます。近代化の一方で、これまで収入源となっていた仕事がなくなったことが、出稼ぎにもつながっているようです。クラブとしては、ネパールの子どもの識字率向上のために始めた事業ですが、社会や村人から求められるニーズも多様化し、ただ学校を建てれば、学びの場所を設ければ、それで全て

が解決できるわけではないと、実感させられます。

昨年 11 月 6 ～ 14 日、コロナ禍のため行けなかったネパールへ、4 年ぶりに訪れました。目的は 2022 年にサニアマライ村を中心に設置した 76 基のバイオガストイレの確認。それと、4 年前にジャナウジョル小学校から要望された 3 教室増設に関する調査でした。小学校では子どもたちに、日本から持ち込んだ文具やお菓子を手渡してきました。周囲の環境は刻々と変化していますが、子どもたち、現地の人たちと触れ合えば、心までは変わっていないことが伝わります。

実は、パルパ郡を訪ねるたび、私が子どもの頃見た日本の原風景が思い出され、懐かしい気持ちになります。自分の思い出と重ね、子どもたちには自由^{かった}でいてほしい、と心から思います。そして、われわれの支援が引き出した子どもたちのうれしそうな顔を見られることが、何よりの楽しみです。今年も 11 月に、クラブの仲間たちとジャナウジョル小学校の教室引き渡し式に行ってきます。社会が変わろうとも、支援を求める人たちがいる限り、私もクラブの仲間たちも手を差し伸べることを続けたいと思っています。(第 2640 地区 和歌山県)



2015 年に支援したシリジャナ初等中学校にて



Case-2 Vietnam

まずは通えなくっちゃ ベトナムで通学用自転車寄贈



豊橋ゴールデンRC国際奉仕委員長 鈴木 紳昭

当クラブでは、ベトナム・ダクラク省ブオンドン県の
グエン・ティ・ミン・カイ小学校を支援しています。

まずは2023年6月、現地調査と話し合いを重ね、
学校を訪問。その中で、貧困家庭の児童たちが抱える事
情について聞きました。問題は幾つかありましたが、最
も大きな問題は、児童の大半が2～10kmの道のりを、
徒歩で2～3時間もかけて通学していることでした。
そのため、天候が悪い日などは欠席が多くなるそうです。
この学校では児童の半数以上が少数民族の出身であり、
彼らは普段、固有の言語を使用しており、将来のため
にも学校に来て、ベトナム語を習うことが必須です。

そこで、通学問題の解消のため、現地で新しい自転車
70台を購入し、今年5月19日に小学校へ寄付。通学

距離の長い児童たちに貸与してもらうことにしました。
これで、通学にかかる時間は大幅に短縮され、その分、
勉強の時間を増やせます。児童によっては放課後に友達
と遊ぶ時間もでき、楽しい学校生活となることでしょう。

ロータリーの7つの重点分野のうち、「基本的教育と
識字率の向上」を目的に実施した事業です。頑張っ
て勉強した暁には、国や地域の経済発展に貢献できる人材に
成長してくれることを期待しています。

自転車の寄贈式には、学校関係者や自治体の代表だけ
でなく、児童たちの保護者らも参加してくれました。自
転車を見て、親子が大喜びをしている様子が忘れられま
せん。活動して本当に良かったと実感しています。

(第2760地区 愛知県)

『ロータリーの友』をフォローする地区のリーダーたち

相澤 愛

第2580地区・友地区代表委員

中村 越子

第2510地区・友地区代表委員



学びとインスピレーションを提供するマガジンを目指して

1953年、成長を続ける日本のロータリーは二つの地区に分かれました。国内の情報共有促進を出発点に、機関誌『ロータリーの友』(以下『友』)が創刊されました。今回は、『友』と地区やクラブを結ぶロータリーの友地区代表委員のお2人に、『友』の魅力を語っていただきました。

『友』読んでいますか？

中村：私は入会して間もなく雑誌会報委員になった時に『友』を読み、読みどころを紹介。でもその後はあまり……。そして、今回『友』の地区代表委員になって7月号を熟読したんです。ちゃんと読むと意外に面白いなって。「あるある相談室」は笑えますね。

相澤：私は正直なところ、全ページをくまなく読むような熟読派ではありませんでした。ですが「ロータリーアットワーク」などの事例紹介の記事はよく読みますよ。全国のクラブが何をしているのかが参考になります。実は『友』をカバンに入れて持ち歩き、電車の中とか、銀行の待ち時間などで読むこともあるんですよ。

委員としての活動予定は？

中村：卓話の依頼がありました。また、ガバナーが同じクラブなので、クラブ公式訪問に同行して幾つか回る予定です。事前に送付される最新号の目次を見て確認、共有もしていますよ。

相澤：私も9月(ロータリーの友月間)の卓話にいくつか依頼が届いています。中村さんがおっしゃったガバナーへの同行

は必要ですね。私も考えなければ。ちょっと焦りました……。

委員になることで編集部の人と話ができて、ここで雑誌が作られているんだなと分かった、より親近感が湧きますね。それを伝えていくのは委員の役目なのかなと思います。

中村：ガバナーの力は大きいので、うまく協力していく必要がありますね。今度、地域活性化のセミナーがあり、私は司会ですが、ガバナー補佐も参加しているので『友』のことも少し話してみようと思います。

学びとインスピレーションがある雑誌とは？

相澤：全国のロータリアンのよりどころって、『友』誌だけしかないと思うので、とても重要な立ち位置だと思います。活動事例の他に、例えばロータリー財団の仕組みとか、知識をおさらいする記事があるといいですね。入会3年ぐらいの方が必要としている知識ってどんなものがあるかな？って考えたりもします。記事の中に注釈も増えて良くなってきていますが、さらに注文をしたくなる(笑)。

先ほども言いましたが、「アットワーク」は、まさに他クラブの事例を知り、自クラブででき

る奉仕活動は何かいいかと検討でき、インスピレーションにつながりますね。取材コーナー「この人訪ねて」では、こんなすごい会員がいるのか、自分も頑張ろう、と思わされます。励みになり、インスピレーションを得て、『友』を読むことで多々影響を受けています。

中村：私は「R1会長メッセージ」が好きなのでいつも読みます。『友』にしか載っていない内容でしょう？ さすが国際的なリーダーだなと感ずることがあって、自分自身のモチベーションアップにもつながってきますね。

相澤：「R1会長メッセージ」などは、全世界の会員が共通意識でつながることのできる大事な部分ですね。他には、ある記事に対して会員が感想を寄せるとか、『友』をきっかけにコミュニケーションが生まれて、すぐすてきだなと思います。

『友』は発行部数が週刊誌『AERA(アエラ)』を上回るといいますから意外とすごい！ 私たちの雑誌として誇りを持っていいのではないのでしょうか。ロータリアンの、ロータリアンによる、ロータリアンのための、みたいな感じですよ。



相澤 愛
Ai Aizawa

東京練馬西RC会員。弁護士。
クラブ会長、地区RYLA副委
員長、地区社会奉仕部門部門長、
地区ロータリー財団委員会資金
推進委員会委員長などを歴任。

中村 越子
Etsuko Nakamura

札幌北RC会員。不動産業
と酒類輸入卸販売業を営む。
クラブでは会員増強委員を3
年連続で担当。地区では公
共イメージ向上委員。

友地区代表委員から一言！

ロータリーの友地区代表委員は、ロータリーの友委員会の構成員で、地区ごとにガバナーから任命されます。ガバナーの代理者として委員会に出席し、ガバナーと連携して機関誌制作における建設的な提言を行う役割を担っています。ここに全国34地区の代表を紹介します。

第2500地区

近藤 真治

帯広西ロータリークラブ



地区の皆さんへ 『友』をよく読んで、活動に生かしてください。クラブの活動を全国に紹介できるよう努力しますので、ご協力をお願いするかもしれませんが、よろしくお願いします。

プロフィール 入会は2014年。職業は建設金属工事・建設資材の販売です。手すりやビルの表面金属パネルなどの他、電動工具を含め資材の販売も行います。「アットワーク」コーナーは、クラブで委員長の時、他クラブでどんな例会や事業を行っているかを知るのに参考になります。豆知識が身に付く「卓話の泉」も面白いですね。

第2510地区

中村 越子

札幌北ロータリークラブ



地区の皆さんへ ロータリアンの皆さま、『友』誌は皆さまの活動を共有し、学びを深める貴重な情報源です。コミュニケーションのきっかけにもなります。ぜひ活用いただき、共に成長発展していきましょう!!

プロフィール 2013年入会。コロナ禍、息子の大学受験もあり1年半ほど休みましたが、親友の出村知佳子さんがガバナーに選出され2年前に戻ってきました。職業は洋酒輸入販売及び不動産事業です。好きなコーナーは「あるある相談室」と「R I 会長メッセージ」です。

第2520地区

千田 弥生

水沢ロータリークラブ



地区の皆さんへ ロータリー歴は24年と長いのですが、まだまだ分からないことだらけで、委員になってから四苦八苦です。皆さんにとってより良い『友』誌になるよう頑張ります。

プロフィール 入会年は2000年ですので、早くも24年が経過しました。職業はホテル経営。昨今の経済情勢により非常に厳しい状況ですが、創意工夫を凝らして頑張っています。「友愛の広場」や「この人訪ねて」が特に好きです。あとは「R I 会長メッセージ」を見て、自分のロータリー観を見つめ直しています。

第2530地区

佐藤 文雄

郡山北ロータリークラブ



地区の皆さんへ 会員減少が叫ばれて久しいですが、ロータリーの発展は会員増強なしでは未来が見えません。一丸となって取り組みましょう。また、各クラブの行事で強調したい企画がありましたら私にご紹介ください。

プロフィール 入会年は1988年。職業は司法書士。ロータリー活動を通じて人間関係を構築し、多様な人たちとの出会いがあります。私の人生はロータリーそのものです。私は「SPEECH」をまず読みます。感動的な逸話や人生訓などを得られます。2024年3月号の「福島に職住を定めた私」に感動しました。

第2540地区

岩佐 信宏

横手ロータリークラブ



地区の皆さんへ せっかく『友』誌を購読しているのですから、ぜひ手に取ってもらいたいと思います。

プロフィール 2000年入会。クラブ幹事経験後、燃え尽きたようになって退会。翌年再入会。その後、クラブ会長やガバナー補佐を担当しました。当社は呉服店として創業しもうすぐ100周年を迎えるのですが、現在はインターネット販売を主業としています。「SPEECH」と「この人訪ねて」はとても読み応えがあります。

第2550地区

鈴木 良男

鹿沼ロータリークラブ



地区の皆さんへ 今年度のR I 会長テーマは「ロータリーのマジック」。クラブや地域での行事など、身近な話題を『友』に積極的に投稿ください。奮ってご参加ください。

プロフィール 入会年は1988年。職業分類は測量設計コンサルタント。都市計画法施行に伴い土地家屋調査士業をしています。『友』誌は全ての内容が豊富で、学ぶことができ、編集の皆さんに感謝。「俳壇・歌壇・柳壇」は会員の個々の生活が反映され、読むのが楽しみです。

第2560地区

小林 啓之

長岡ロータリークラブ



地区の皆さんへ 友地区代表委員と『ガバナー月信』担当の地区副幹事を兼務。ぜひとも『友』と『ガバナー月信』のご愛読をお願いします。寄稿、情報提供も大歓迎です。

プロフィール 2023年入会。職業は新聞発行。地元『新潟日報』の長岡支社長を務めています。現在は支社全体を統括する立場ですが、元々は新聞記者出身で、3年前まで社説やコラムを書いていました。好きなコーナーは「この人訪ねて」。最近では今年2月号の青柳修次さん(燕RC)の記事が良かったですね。

第2570地区

田島 高久

深谷ロータリークラブ



地区の皆さんへ 『友』誌の購読のきっかけづくりができるように活動したいと思います。

プロフィール 2017年入会。職業分類は不動産賃貸業です。「地区大会略報」コーナーが好きです。

第2770地区

板橋 智之

川口東ロータリークラブ



地区の皆さんへ 『友』誌を読んでください! 投稿してください! 電子版を活用してください! きっと皆さんのロータリーライフが楽しくなりますよ!

プロフィール 1991年入会。職業は不動産仲介業です。父親が1974年に創業し、その後を継いで33年目となりました。地元である川口市を中心に不動産売買の仲介や賃貸物件の管理などを行っています。「エバンストン便り」は、世界のロータリーの動きがいち早く分かるので好きです。ポリオの症例数が気になります!

第2790地区
海寶 勘一

千葉西ロータリークラブ



地区の皆さんへ 『友』誌は編集部が身を粉にして、毎号協議を重ね、意義ある記事を満載させて発行しています。一字一句に命が宿り価値があることを知り、記事を話題にした語り合いの楽しみを共有したいものです。

プロフィール 入会は1991年。職業分類は損害保険。『友』を手にしたら目次の内容とロータリー月間を確認。地区内のクラブ、会員の投稿があるのか、または知り合いの記事を見つけて読みたいからです。身近な知り合いの記事には感激し、仲間意識と親しみが一層増します。

第2800地区
木口 護

白鷹ロータリークラブ



地区の皆さんへ まずは投稿よろしくお願ひします。楽しいクラブの奉仕活動を紹介ください。学びの例会プログラム内容も公開してください。親睦活動グループなど、いろいろと。

プロフィール 2019年入会。木製建具工事が仕事で、施主および設計者の注文に沿った建具の製造、リフォーム住宅工事(古民家再生プロジェクトの建具製作)をしています。「この人訪ねて」コーナー、桂文珍師匠が会員とは! スーツ姿が似合っている! 「友愛の広場」と「アットワーク」はクラブ活動の参考にしたいです。

第2820地区
小森 勇一

高萩ロータリークラブ



地区の皆さんへ 今、地球は発病し気候変動に苦しみ、80億人の生活は不安です。『友』は灯台のように世界の奉仕や協調する姿を掲載しています。読むことで世界とつながり、ロータリアン同士の握手となります。皆さま、『友』と共に歩みましょう。

プロフィール 1999年入会。職業分類は生涯学習講師。ロータリーでは、中学1年生への職業教育出前授業や、子どもたちの英語発表会などを実行しています。「R1 会長メッセージ」「特集記事」「俳壇・歌壇・柳壇」「数独」が好きです。

第2830地区
木下 一志

五所川原ロータリークラブ



地区の皆さんへ 普段、手にすることの少ない『友』誌ですが、たまに知人が載ることも。また、世界の現状を知る雑誌でもあります。文字が多いですが、身近な記事から読んでください。

プロフィール 2004年入会。職業分類は葬祭業です。ある会合で出会った方に、若いうちにロータリーに入った方がよいと言われ入会。初めは右も左も分からず、隣を見よう見まねで過ごしては20年。委員になって『友』編集の大変さを知りました。地区、クラブでの活動が分かる「アットワーク」が好きです。

第2840地区
柳田 秀男

太田ロータリークラブ



地区の皆さんへ 地区協議会の時もお願ひしましたが、全クラブに電子版の閲覧、利用をお願いしています。当地区は投稿数が伸び悩んでいます。が、投稿はたった一人の熱意ある会員の努力で飛躍的に増えます。

プロフィール 2000年入会。職業は石材加工販売で、墓石関係や建築石材施工の仕事です。最初に開くページは、「俳壇・歌壇・柳壇」。個人的には、還暦を迎えた時と、娘の結婚が決まった時に柳壇に自分の句が掲載されたことが、良い思い出です。

第2580地区
相澤 愛

東京練馬西ロータリークラブ



地区の皆さんへ 『友』は私にとって宝宝箱のような存在。どのページを開いても発見や学びがあるからです。ただの「購読誌」ではもったいない。皆さんもぜひ「愛読誌」としてかわいがってください!

プロフィール 2013年入会。職業分類は弁護士です。「アットワーク」は会長年度に、各クラブでの取り組みから、たくさんのヒントをもらいました。「この人訪ねて」は、こんなに頑張っている会員がいるのだと毎回励まされ、自分も頑張ろうという熱い気持ちにさせてくれます。

第2590地区
亀ヶ谷純子

横浜港北ロータリークラブ



地区の皆さんへ 夫が亡くなった後ロータリーに入会、久しぶりに手元に届いた『友』! 砂漠の砂が水を吸い込むように、端から端まで、夢中で何回も読みあさりました!

プロフィール クラブ創立会員だった義父から職業奉仕の在り方を教えてもらい、嫁いだ時から44年間、ロータリーファミリーです。実は最初に開くのは川柳コーナー。積ん読になりがちな『友』を手にとって開いてもらうには、どうしたらよいか? とみんなで知恵を出し合った結果、川柳同好会が誕生。毎月投稿しています!

第2600地区
中澤 弘和

佐久コスモスロータリークラブ



地区の皆さんへ 『友』同様に、地区の広報誌『ガバナー月信』もよろしくお願いいたします。

プロフィール 2022年入会です。職業分類は印刷です。臼田活版(株)は信州・佐久に創業し、1世紀にわたり培った、技術、経験、信頼が誇りです。縦組みの「卓話の泉」コーナーは、簡単に読めて、ためになるのでよく読んでいます。

第2610地区
青島 郁男

宇奈月ロータリークラブ



地区の皆さんへ 当地区の情報をどんどん発信していきたいです。取材に伺った際はよろしくお願いいたします。自薦、他薦、その他情報、取材依頼を随時お待ちしております。

プロフィール 2020年入会の新参者です。生まれ育った地元に戻って入会しました。会社は観光にも力を入れる黒部峡谷鉄道です。「この人訪ねて」は、しっかりとした取材に裏打ちされた情報量や描写から人となりがよく伝わり、共感、教訓、気付きなど、得るものがたくさんあります。

第2620地区

齋藤 嗣樹

荏崎ロータリークラブ



地区の皆さんへ『友』をもっと活用して、クラブの活動や新会員の研修、会員増強に役立てていただきたいと思います。新会員は『友』を読んで、ロータリー活動への理解を深めてください。

プロフィール 1995年入会。職業分類は食品添加物製造業。清涼飲料水に使用する甘味料、酸味料や、総菜、漬物に使用する調味料、鮮度保持剤などの製造です。「アットワーク」コーナーが好きです。雑誌委員長の時に投稿したものが掲載されました。

第2630地区

市川 裕規

名張中央ロータリークラブ



地区の皆さんへ『友』は日本でも有数の発行部数を誇る雑誌です。こんなに影響力のある雑誌をただ手に取るだけではもったいないので、どんどん積極的に投稿してください。スマートフォンでも可能で案外簡単ですよ。

プロフィール 2013年入会。不動産鑑定士です。知名度の低い資格ですが、実は皆さんの生活に深い関わりのある仕事です。例えば固定資産税の土地評価などです。好きなコーナーは「うちの子」です。わが家の愛犬・トイプードルの「福」は2023年12月号に掲載されました。

第2750地区

市川 和博

東京八王子南ロータリークラブ



地区の皆さんへ中身が濃すぎるほど情報満載で、目を通すのが大変な雑誌です。お付き合いの仕方にひと工夫してみても？例えば「特集」「SPEECH」だけは必ず読む、など。少しでも触れる機会を増やしてロータリーを通じた世界観を広めてみてはいかがでしょうか？

プロフィール 1976年、八王子市で矯正歯科医院を開業。86年入会。20年前『友』の表紙を飾った私の写真「出雲の花嫁」で、疎遠の大学時代の友人から連絡。驚き、懐かしさで文通の再開を果たしたことがありました。

第2760地区

池森 由幸

名古屋千種ロータリークラブ



地区の皆さんへ『友』誌はロータリアン向けの内向き広報ツールです。ロータリーはアメリカ発祥の団体。広報活動はプロのサポートを受けていると思われます。それ故に、ご自身の事業にも役立つ知識や考え方が得られる有益なツールといえるでしょう。

プロフィール 1999年入会。矯正歯科専門医です。「SPEECH」「この人訪ねて」「につぼんふうど」は、登場人物や書き手の人柄、生きざまが分かる、共感できる記事だと思います。

第2780地区

田中 哲

鎌倉大船ロータリークラブ



地区の皆さんへ当地区は山あり海あり、日本を代表する風光明媚な地区です。ぜひ皆さんのクラブ活動を掲載させてください。今年は卓話行脚しますので、呼んで（読んで）くださいね！

プロフィール 2014年入会。職業は教育関連の出版、イベント開催。地元では「鎌倉検定」の問題作成も。「友愛の広場」は全国の声が聞け、同じ考えの会員やクラブに共感。「につぼんふうど」は鎌倉RCの久保田会員が食文化を執筆。彼の人柄が文章に出て、いつも「へーそうなんだ」「なるほどねー」と笑顔で読みます。

第2640地区

北芝 昌明

和歌山南ロータリークラブ



地区の皆さんへ地区の情報、ロータリアンの意見などを編集部へ届けるのが私のミッションです。

プロフィール 焼き肉店を何軒か経営しています。店の宣伝にええわと、よこしまな動機で2008年に入会しました。ところが、ロータリーの魅力にどっぷりはまり、15年末席を汚しています。『友』2024年5月号「友愛の広場」に「ラジオ番組を持つ」で掲載していただきました。また、久保田英男さんのコラム「につぼんふうど」が大好きです。

第2650地区

福田 一郎

奈良ロータリークラブ



地区の皆さんへ不謹慎ですが、あまり読んでこともなくここまで参りました。任期は天命だと感じ、熟読して会員の皆さまにもお伝えしたいと思います。よろしく願い申し上げます。

プロフィール 2001年入会。職業分類は商業デザインです。振り返ればたくさんの思い出と、小さな成果が。時代と共に移り行く環境に、今後どこまで対応できるか。「友愛の広場」が好きです。会員の皆さんのロータリーに対する思い、考え、希望、日々の出来事など、さまざまなエッセンスが詰まっている宝箱です。

第2660地区

木村 芳樹

大阪南ロータリークラブ



地区の皆さんへ『友』誌の特長は毎月1日に全国の会員が同時に同じ情報を共有できることです。R1指定記事に関しては全世界のロータリアンが同時に共有します。『友』を読めば、クラブの、日本の、世界の会員とつながります。

プロフィール 入会は1993年、42歳の時です。職業分類は化学工業。繊維関係の助剤をはじめ各種製造販売しています。最初に読むのは、「アットワーク」。各クラブがどのような活動をしているか興味深いです。特に自クラブの投稿があればうれしいです。

第2670地区

坂田千代子

徳島プリンスロータリークラブ



地区の皆さんへ『友』をあまり読んでいない方に一言。まずは手に取ってページをめくってみてください。意外なコーナーで、生きるヒントが得られ、事業の未来を考える機会になることがありますよ。

プロフィール 2012年入会。会社の周年記念誌や自叙伝の制作など、出版事業を行っています。タウン誌発行から入って40年以上にわたり、編集、出版の仕事に携わってきました。「この人訪ねて」コーナーは、ロータリアンの生きざまのようなもの、ものが伝わってくるので好きです。

 卓話に役立つツール

第2680地区
近田 和裕
神戸西ロータリークラブ



地区の皆さんへ 『友』は興味深い記事がたくさん掲載されていますので、皆さま、ぜひお読みください。

プロフィール 2003年入会です。職業分類は幼稚園です。「卓話の泉」コーナーが好きで、よく読みます。



『ロータリーの友』手引書

- ・日本の機関誌『ロータリーの友』について
- ・『友』の歴史的変遷
- ・投稿の方法と掲載されるコツ
- ・広告募集
- など



www.rotary-no-tomo.jp/download/tomo_tebiki.pdf



9月『友』月間用パワーポイント

編集可能なスライド用
パワーポイントデータをご提供。



www.rotary-no-tomo.jp/tmp/info/2023tomomonthl.pptx

第2690地区
飛山 美保
岡山南ロータリークラブ



地区の皆さんへ 『友』電子版では第2690地区と検索すると396回も登場していることが分かりました。現在もさらに増えていますね。それぞれの取り組みを、しっかり情報発信しながら「未来への架け橋」をつくっていきましょう!

プロフィール 2018年入会。職業は弁護士です。「SPEECH」のコーナーが好きです。月間のテーマに関連する内容となっていて、知識を得ることができたり、新しい視点に気付かされたりします。熱い思いも伝わってきますね。

第2700地区
江藤 航治
小郡ロータリークラブ



地区の皆さんへ R I 指定記事から地区・クラブの活動、ご意見、体験談、歌、職業人の知識など幅広く掲載。会員歴が長い方はもとより、浅い方や、非会員が読んでも理念や活動が分かります。購読から好読。そして好読から愛読へ。

プロフィール 2016年入会。職業分類は内装仕上工事業で、主に建築に携わる木製品の製造施工です。心地よい空間と感動を与えることが私の思う職業奉仕です。「あるある相談室」はとても面白い。

第2710地区
鈴木 義治
岩国ロータリークラブ



地区の皆さんへ 毎月『友』をご一読ください。また、各クラブの奉仕活動を積極的に投稿してください。ご協力よろしくお願い申し上げます。

プロフィール 2014年入会。職業分類は金属加工業(製缶)です。管工事、鋼構造物工事、機械器具設置工事を営み、西日本地区を中心に展開。「私の一冊」は本を読みたくった時、どんな本がいいかと悩みます。そんな時、ロータリオンのお薦めの一冊があれば、自分も読んでみようかなという気持ちになりますね。

第2720地区
波佐間英樹
熊本中央ロータリークラブ



地区の皆さんへ 今までにないような奉仕活動を投稿してください。そして、「奉仕プロジェクトセンター」にもアップロードしましょう。

プロフィール 入会16年目、印刷業です。近頃は動画編集しYouTubeに掲載。印刷物から誘導して付加価値向上。好きなコーナーは何といっても「俳壇・歌壇・柳壇」。自分の名前が掲載された時はジーンと感傷に浸って放心状態に。私は川柳作家であり、歌人であり、俳人。久保田さんの「にっぽんふうど」は、うなずきながら、感心しながら、よだれを垂らしながら読みます。

第2730地区
深尾 兼好
鹿児島西ロータリークラブ



地区の皆さんへ ロータリーを勉強したいと思っている皆さん。入門書はいろいろありますが、一番身近で分かりやすく、新情報を得られるのが『友』。1年みっちり読めばいっぱいロータリオン、投稿すれば日本中に友達ができますよ。

プロフィール 1994年入会。職業分類はイベント企画。「広告業は地元密着で」の信念でやってきました。昨年、鹿児島の広告誌『RUSTIC ADVERTISING』を出版。必ず目を通すのが「この人訪ねて」コーナー。それぞれのドラマがあるから、極めて面白いですね。

第2740地区
俣野 正仁
大村ロータリークラブ



地区の皆さんへ クラブ内で担当の時はさすがに読んでいましたが、それ以外はぱらぱらとページをめくるだけのことも……。でも、よく読むと編集者が苦労した素晴らしい記事ばかり。

プロフィール 2000年入会。歯科医師です。クラブは尊敬する先輩が多数在籍。ロータリーは善き人の集まりでなくては。「友愛の広場」は過去に2度私の投稿が掲載。転勤で退会した会員の「メモリアルナイト」。クラブ会員の気持ちを一つにした「100%例会を目指して」。会員の気持ちがよく伝わる記事を読んでいます。

共に過ごし、共に生きる

東京山の手 R C の推し活 Togethers

～例年、クラブで続ける活動の在り方

Togethers 実行委員会委員長 青柳 浩／同委員 広報 浅野健太郎（東京山の手 R C）

2024 年 6 月 15 日土曜日。東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに、都内の児童養護施設から 21 施設、約 190 人の子どもたちを迎えました。ボランティア、私たちも加えると総勢は 470 人。

「Togethers ワクワク・ワークショップ」の一日が始まりました。11 のブースを子どもたちが回遊しながら、職業体験に挑戦。ワクワクと胸躍らせながら回ってね、の意をタイトルに込めました。

Togethers の S はみんな一緒の S

Togethers とは「共に過ごし、共に生きる」がテーマの奉仕活動の名称です。わが東京山の手ロータリークラブ（R C）の独自の活動、魅力の一つ、と言っても過言ではない、いわば推し活であります。

よく聞かれるのですが、最後の“s”は間違い？ではなく造語です。障害のある人ない人、周りの保護者や友人、支える側の私たち……参加者全員が同じ地平線に立ち、歌、演奏、踊りを披露し、讃えあって一緒に集い。ですから、Togethers として“s”が必須なのです。初回・2011 年以来、コロナ禍も挟みましたが、今年で 13 回となりました。

開催方式はフリーです。Togethers 大運動会「キラリンピック」も 2 度開催しています。綱引き、玉入れ、パン食い競走、風船割り競走、リレー、応援合戦、ねぶたダンスなどなど。音が頼りの視覚障害者と、音には頼れない聴覚障害者が、同じフィールドで運動競技をする、などということも実現できました。その時は白熱し過ぎたのか、リレーで転倒者が出るほど盛り上がりました。実現の心配より、もっとケガの心配をすべきでした。

継続することで広がる視点、見つかる課題

昨年の第 12 回から「児童養護施設の子どもたち」に照射しました。第 11 回までは、身体的・知的な制約を

抱えておられる方を主体に迎えていました。しかし、「社会のゆがみにより、つらい思いをしている子どもたちも対象者では？」「この子たちとのイベントも Togethers で可能では？」と舵を切りました。

ロータリーでは単年度事業が原則でした。しかし、継続すると新観点を得ませんか？問題はマンネリで、毎回「今、ここ」を見直せばいいのだと思います。経験知が邪魔することもありますから。

ということで第 12 回から、家庭環境や経済的な理由により、職業選択の機会や情報量など、社会との接点が限られている子どもたちに直面することに。心得ておくことは何か。「どうせ僕なんて、私なんて」とネガティブマインドが根強い子ども、すぐヒステリックになり癇癪を起こす子も、正直見受けられました。しかし、やがて理解ある施設の職員がいない一般の社会へと、子どもたちは船出しなければなりません。

まず、過保護にならず、良くない態度はしっかり注意しよう、という姿勢を、ボランティアとも共有して臨むことにしました。もっとも、懸念されたこの申し合わせは、うれしい誤算に終わりましたが。当日、子どもたちは施設の職員や私たちも驚くほどの集中力、理解力、判断力や創造力を随所に、見せていたからです。

それから、当日の写真撮影について改めて留意しました。Togethers のような催しには顔はもちろん、服装が少し映り込むことさえ、完全に N G の子もいます。プロの契約カメラマンを除き、全面撮影禁止としました。

ロータリーならではの支援とは

養護施設としては昨今、支援団体も選べる時代。私たちとしても、ロータリーだからできることを贈りたい。前回の反省を踏まえ、第 13 回 Togethers はロータリーならではの奉仕をブラッシュアップ。「仕事をするということ」に力点を置こう、子どもたちには、どんな人も



働いて生きていく、というメッセージを伝えよう。

実行委員長として、世界には多くの種類の仕事があること、「楽しい」仕事の他に「難しい」仕事もあって、その未来をブースで体験してほしい、と考えました。今まで関心がなかったことも、実体験してみて「意外と楽しかった」「自分に向いているかも」「難しかったけど面白いかも」など、仕事の醍醐味に気付いてくれたらうれしい。今後、社会で自らの能力を発揮して自立し、夢と希望を持って生きていくための一助でもいいから、何か見つけてほしい。

11の職業体験ブースを用意

働くことをイメージできるような、現場体験を提供する方法は？ トータル12回分の経験はあるものの、就労支援としてのTogethers経験は2回目。月1回の打ち合わせを、10カ月重ねました。自らの職業分類を代表する意見が飛び交い、前回に引き続き、職業体験ブースの用意でいこう、となりました。

今の子が体験したい、今の世の中で体験してほしい分野は何だ？ ということで「健康ヘルスケア・スポーツ」「医療・病院」「メディア・記者」「物流・お花屋さん」「航空・CA（キャビンアテンダント）」「製造・印刷」「インフラ・建設」「金融・資産運用」「福祉・接客サービス」「法律・弁護士」「世界のいろいろな仕事」の11ブースを準備。

単に生花店体験、で終わらず「物流」も学べる仕掛けを作っておりあります。「世界のいろいろな仕事」ブースでは、元青少年交換学生がユーチューバーの世界を示し、米山学友が留学経験を語り、AIの可能性についてデモも。ネイティブによる英語スピーチを、翻訳業の会員が逐次通訳して翻訳業を、ギタリストは仕事としての音楽を紹介するなど、バラエティーに富む、まさにロータリーならではのブースが展開できたと思います。

つくづく、世界には実に多くの仕事があり、自分に合った仕事を見つけなければ、と皆感じたようです。ロータリーの7つの重点分野の1つ「基本的教育」の手ほどきにもなったかな、とも。



ブースを訪れたお客さんに実際にモノが売れると、児童養護施設の子と知的障害者の子が、手をつないで一緒に飛び跳ね、喜んでいました。双方が人と接する仕事の尊さを体感できたと思いますし、飛び跳ねる子どもらのシーンを随所に見る私たちも、喜びを感じました。全ての人と一緒にいるという、Togethers の象徴的なシーンだったと思います。

社会に出る前に、職業のプロフェッショナルと直接交流し、自分の興味や関心を探す実体験を通して、

事業で成功するためには努力と熱意が必要なのだ、ということが伝わったのでしょうか。将来、希望を持って社会に出る自信が、少しでも深められたのでしょうか。

戸惑いは喜びへ

初めての体験に戸惑う子もいましたが、サポートを受けるうちに、自信を持って取り組む姿に変化していきました。「お花をアレンジするのは難しかったけど、とても楽しかった。それに、すごい細やかな技術が必要なんですね」と笑顔を見せ、模擬裁判を体験した子は「弁護士、大変。でも、こんなに人を助けることができる仕事なんだ、素晴らしい」

施設スタッフからは「子どもが、こんなに多くの人から注目と拍手を浴びる機会なんて、今までなかった。うれしいです」といった声を頂きました。

会員一丸となって作り込んだ 11 のブースでは終日、各業界を代表する存在として、過ごしました。各人、ポジティブなロールモデルになりたい、という強い思いと共に、子どもたちに接することができたと思います。

「健康ヘルスケア・スポーツ」を担当した会員は、自分が派手にこけてしまい途中離脱。座っていたところ、「だいじょうぶ？」と子どもの方から寄ってきて声を掛けてくれたそうです。「チアダンス体験をしてもらったんですよ。小学生男子らが先生 2 人の脚に乗って、自分の手を離してバランスを取っていました。その際の満面の笑みっていったら」

片や「製造・印刷」担当の会員によれば「淡々と、黙々と作業をしている様子が印象的でした。そこにスタッフが『次に行こう』と言うと、泣く泣く終える子も出まし

外部業者とコラボして

ブースは、クラブ会員だけで充当できる職業を準備すれば、ある意味楽だったかもしれません。でも、用意したかった「メディア・記者」「金融・資産運用」ブースを担当できるクラブ会員は、いませんでした。ない業界は作る。でも、お任せはまずい。そこで、外部業者とコラボすることにしました。日経 CNBC の全面協力を得て「メディア・記者」ブース設定にこぎ着けました。

ライブでイベント施設内取材し、それを基に、自分でニュース記事を書き、実際にカメラの前で読み上げる「現場」を子どもたちは満喫。「カメラ撮影もできた。情報を正確に伝えるって難しい。社会に影響を与える力がある仕事ですね。ジャーナリストを目指したい」

「金融・資産運用」ブースは、金融情報ベンダー（株）QUICK に協力を依頼。カードゲーム「資産形成王」を通じ、資産運用の基本を学ぶことにしました。

子どもたちからは「ゲームでお金の運用の勉強なんて新鮮」「でも、リスク管理は難しい。資産を増やすためには知識がたくさん必要なんだ」「お金のことを知っておくことは、生活に役立つと実感。ファイナンシャルプランナーになってみたい」という声が拾えました。金融リテラシー向上に役立つ知識を、何より楽しく、身に付けてくれたと思います。

「福祉・接客サービス」ブースでは、カフェ営業をしている知的障害者施設「シャロームみなみ風」の全面協力を得ました。知的障害のある子が、子どもたちに接客業の魅力と難しさを教える、というちょっと変形バージョンです。

て。没頭そのもの。ものづくりに興味を持ってくれたらうれしいなあ」

80人ほどの当クラブの大半が参加し、当日来られなくとも何らかの形で協力し作り上げる Togethers。クラブで活動する意義を再確認でき、皆の結束を深め、親睦にもつながる、会員自身も充実した一日となりました。また、クラブだけで完結せず、外部と協力する方式は、奉仕の可能性を^{ひろ}げきつかけになったと評価。今後、さらに地域社会との連帯感を強化できれば、将来的に、地域の発展へも寄与できるのではないのでしょうか。

振り返り、をすれば

今回の試みが、子どもたちにとって将来の進路選択の一助となり、夢や希望を抱ききつかけとなることを、心より願っています。うれしいことに年々、Togethersへの参加団体が増えています。障害がある／ない、という二項対比の世界を超え、異なる障害のある人たちで励ま

し合い、理解し合う世界が生まれている。私たちの理想に近づいています。Togethersの全国展開が希望です。日本中のクラブが、世界中のクラブが、同様の活動をしてくれたら、もっと世界はフラットに、もっと楽しくなるはず。13回重ねた「推し」の活動です。

第1回 Togethers に、静岡の障害者支援施設のチームが参加するのをサポートしてくださった第2620地区・静岡県の静岡日本平RCは、翌年から「Togethers in 静岡」を開催されているとか。同クラブとは友好クラブとして、他の活動でもご一緒させていただく機会が増えました。Togethers つながりです。

Togethers ご計画の折には、お声掛けください。悩みどころなど、率直にお話ししたいと思います。逆に、すてきなアイデアなどお寄せいただければ、うれしいです。

ロータリーの会員同士も Togethers ですから。

(第2750地区 東京都)

*編集部注 写真は全て東京山の手RC提供

児童養護施設との活動 7つのヒント

1. 賛同を得る

ロータリークラブの認知ですが、残念ながら……というのが現実。私たちがどのような団体であるのか、相手に丁寧に説明する必要があります。また、施設側は調整作業や予算作成のために「イベントの内容」が知りたい、というのが本音です。賛同を得るためにも、訪問時にはイベントの概要（日にち・場所・時間・内容）を整理し、準備しておきましょう。

2. 専門的な知見を備える

専門的な知見（有識者がいると、なお可）を伴うイベントであることを伝えたと安心感を得やすいです。

3. 距離感

「適切な距離感」を心がけましょう。近づきすぎず、かといって壁を作り過ぎない。施設職員とも、子どもとも、自然な関係を保つことが大切です。慈善の気持ちが表に出て、距離が近づき過ぎたことでトラブルになるケースは、支援の現場で少なくありません。

4. マナー

虐待体験により、体への接触に敏感な子もいます。肩をポン、などの行為に気を付けましょう。光や音

などを刺激として感じる、感覚過敏の子がいる可能性もあります。また、家族に居場所を知らせていないケースがあります。秘匿の子どもに配慮し、写真・動画の撮影は最小限に。必ず施設側に確認しましょう。文中でも記しましたが、顔が隠れていても、衣服などが露出していてNGになるケースもあります。

5. 背景の理解

児童養護施設のお子さんは、諸事情（母子家庭・父子家庭・疾病・虐待など）を抱えています。多様な背景を理解しましょう。

6. 「その子」へ向き合う

さまざまな背景があることを理解した上で、目の前の「その子」に対して向き合しましょう。そこは「特別」ではなく、ロータリアンとお子さんの「その瞬間の信頼関係」が大事なのです。

7. 何よりも大事なこと

大人が「生き生き」と「楽しく」働いている姿を見せる。そういった大人が社会には多くいること。世界は広いということ……ロータリアン自身が改めて、自分を振り返ることも大切な支援の一環です。

ロータリー希望の風奨学金

—— 私たちロータリアンは、あの日のことを決して忘れません。

13 年前のあの日から……

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会 顧問 地葉 新司（潟上 RC）

はじめに

今年 1 月 1 日の午後 4 時 10 分ごろ、石川県能登半島で最大震度 7 の揺れを観測する大地震が発生しました。建物の倒壊や津波の被害などで死者は 240 人以上を数え、地盤の隆起も確認されています。私にとっては 13 年前の 3 月 11 日、秋田県潟上市^{かたがみ}の職場にいた時に感じた怖さが、津波や火災、逃げ惑う人たちの映像と、地震・津波被害の報道を見聞きするたびに脳裏によみがえってきます。また、ロータリー希望の風奨学金の運用に携わっている一人として、「被災遺児や孤児は、どうなるのだろう？」との思いが、頭をよぎります。

ロータリー希望の風奨学金は、2011 年 3 月に発生した東日本大震災によって、両親もしくはひとり親を亡くした被災遺児のうち、大学や専門学校に進学する若者へ月額 5 万円を支給する奨学金事業です。震災当時、0 歳であった子も対象としますので、その子が大学を卒業す

るまで続くプログラムで、すでに 13 年と 6 カ月が経過しました。2033 年 3 月を最後と考えていますが、まだ 9 年間続くことになります。支援者の皆さまにはこれまでのお礼を申し上げるとともに、今後のご支援もよろしくお願いいたします。



横浜あざみ RC は「『希望の風』支援チャリティーコンサート 忘れない東北Ⅺ」を開催。今回で 12 回目（24 年 3 月 26 日）

「ロータリー希望の風奨学金」の概要

この奨学金は、震災後に設立されたロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会の運営する教育支援プログラムです。概要は以下の通り。

奨学生の条件：

東日本大震災で両親もしくはひとり親を失った「遺児」で大学（短期大学を含む）、専門学校に学ぶ者。

奨学金の給付：

入学から卒業まで毎月 5 万円を継続して給付し、返還を求めない。

申請から登録まで：

被災各県高等学校、遺児家族、本人から、在籍高等学校の推薦とともに申請を行う。資格審査（書類確

認）の上、遺児には「奨学金給付者名簿登録済み」と「進学後に必要な手続き」を、推薦学校宛てには「給付決定の通知」と「推薦に対するお礼状」を送付する。※現在、既に大学・専門学校に通学している方からの申請は受け付けておりません。

奨学金給付開始：

大学・専門学校入学と同時に、在学証明書を当協議会に送付してもらい、入学を確認後、奨学金の給付を開始する。

後のフォロー：

奨学生が進級するごとに在学証明書を提出してもらう。留年や停学、退学の報告を受けたとき、または在学証明が更新できないときは給付を停止する。

1) 奨学生の実態報告（資料1）

2023年7月1日から24年6月30日までの1年間(第14期)の奨学生数は122人で、前期比で88%と減少しました。プログラム開始からの奨学生の総数は587人です。24年3月の卒業生は34人で、プログラム開始からの卒業生は406人となりました。次年度(第15期)の奨学生は82人から始まります。

新規奨学生は高校在学時に申請書類を提出し、進学後の在学証明書の提出によって入学が確認できた後、奨学金の給付を開始します。14期生の入学生(新規給付者)は25人でした。昨年度の給付生で24年4月に進級後、在学証明書の提出を確認した奨学生を含めると、24年7月の給付者は82人です。

(資料1) 23－24年度(第14期)給付奨学生の状況	
	24年6月30日現在 (単位:人)
前年度からの継続者	93
新規給付者	25
給付再開者(注1)	4
23－24年度内支給者総数	122
24年3月卒業生	34
退学による修了者	1
休学による停止者	2
在学証明書未提出による停止者(注2)	3
次年度への継続者	82
注1) 在学生に新規の在学証明書の提出を求め、進級が確認できた場合は、給付を再開します。	
注2) 新たな在学証明書が未提出で進級を確認できない場合は、振り込みを停止します。	

2) 支援金ならびに奨学金の実績報告（資料3）

収入の部は、13期繰越金と支援金、銀行利息の雑収入を合わせて2億8,865万円となり、前期比97%となりました。支出の部では奨学金が前期比80.1%、総支出も5,448万円となり、前年比80.6%と減少。繰越金は2億3,417万円で前期比101.9%となりました。

3) 今後の見通しについて（資料2、4）

プログラム開始時の資金と14期(23年7月1日～24年6月30日)の1年間に寄せられた支援金を合わせると11億6,690万円になりました。24年6月30

(資料2) 地区別支援金実績（金額順）

24年6月30日現在(単位:円)		
地区および団体・個人	第14期 23年7月～ 24年6月	開始時資金+支援金 合計
D-2650*(福井・京都・奈良・滋賀)	14,987,862	328,966,166
D-2580(東京・沖縄)*	18,855,685	227,712,226
日台ロータリー親善会議		125,339,917
D-2790(千葉)*	3,107,266	87,482,243
D-2570(埼玉西北)*	5,409,689	85,209,081
D-2760(愛知)*	4,280,580	75,058,792
D-2710(広島・山口)*	5,200,000	58,896,688
D-2720(熊本・大分)*	1,418,000	38,833,569
D-2590(神奈川)*	900,639	33,842,951
D-2630(岐阜・三重)*	100,000	25,209,625
D-2540(秋田)*	755,493	17,256,201
D-2750(東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)		15,911,733
D-2820(茨城)	2,168,421	10,913,167
アメリカ・台湾・韓国の個人・団体	320,000	8,712,013
D-2550(栃木)	446,000	3,709,910
D-2620(静岡・山梨)		3,663,271
D-2610(石川・富山)		3,037,268
D-2690(岡山・島根・鳥取)	120,000	2,518,834
D-2640(大阪南部・和歌山)		2,197,021
D-2800(山形)		1,942,330
D-3340(タイ)		1,765,192
D-2770(埼玉南東)		1,710,000
D-2700(福岡・長崎・佐賀)	600,000	1,312,000
D-2670(愛媛・香川・高知・徳島)		1,300,000
D-2780(神奈川)	13,000	1,206,000
D-2510(北海道西部)		1,080,000
D-9710(オーストラリア)		700,000
D-2530(福島)	30,000	514,000
D-2730(鹿児島・宮崎)	130,000	395,000
D-2830(青森)		220,000
D-3510(台湾)		100,000
D-3661(韓国)		100,000
D-2740(長崎・佐賀)		75,860
D-2520(岩手・宮城)	10,000	10,000
計	58,852,635	1,166,901,058

* 印はプログラム開始時からの参加地区です。

日現在の残高は2億3,417万円です。目標とする33年3月までの状況では、予測値に対してさらに2億9,953万円が必要とされます。

今後、厳しい判断をせざるを得ない状況が訪れるかもしれませんが、私たちは被災直後に芽生えた思いを、最後までつなぎたいと思っています。さらなるご支援をお願いいたします。

4) 奨学生からの声

今年3月に大学を卒業した奨学生から送られた礼状をご紹介します。

「このたび大学を卒業し、春から静岡県でウエディングプランナーとして働くことになりました。ロータリーの皆さまには、長い間たくさんの支援をしていただき、充実した大学生活を送ることができました。本当にありがとうございました。これからは、これまでお世話になった方々にご恩を返すことができるように努めてまいります。本当にありがとうございました」

現役奨学生、支援者からの声も併せてご紹介します。当会では奨学生が4月に進級し、在学していることを確認するために、4月時点の在学証明書とアンケートへの回答を義務付けており、そちらに寄せられたものです。

また、当会では支援金が振り込まれるとき、お礼状や領収書をお届けするため、送金確認書をファクスやメールで事務局に送ってくださるようお願いしていますが、その際、コメントを添えていただくようお願いしています。そうしたコメントは毎月、各地区のガバナー事務所

(資料3) 第14期収支計算書

(23年7月1日～24年6月30日)

(単位：円)

収入の部		
	前期繰越金	229,794,793
	開始時資金	—
	支援金	58,852,635
	雑収入	3,587
	収入合計	288,651,015
支出の部		
(1) 奨学金	奨学金	54,100,000
	振込手数料(注)	0
	小計	54,100,000
(2) 経費	設備費	0
	通信費	60,376
	振込手数料	880
	消耗品費	18,700
	会議費	0
	備品費	293,150
	雑費	11,000
	小計	384,106
	支出合計	54,484,106
	次期繰越金	234,166,909

注) 奨学金に関する振込手数料は千葉銀行から支援していただき無料です。

へ「風の便り」としてお届けしています。前年度1年間に寄せられた皆さまの声の一部を抜粋します。

(資料4) プログラム開始から終了までの活動実績および予測

※ 2024年6月30日時点 予測

期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
年	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33
奨学生数	35人	80人	143人	161人	172人	176人	175人	176人	185人	194人	201人	168人	136人	122人	114人	111人	106人	107人	107人	107人	80人	53人	26人
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測
奨学金	支給した期間														継続可能期間				募る必要のある期間				
	これまでに支給した金額														現在の資金で 支援できる金額				今後必要となる金額				
	9億3,095万円														2億3,417万円				2億9,953万円				

※ 1～14期の支給した奨学金は実績です。15～23期の「現在の資金で支援できる金額」と「今後必要となる金額」は2020年以降の奨学生の推測数に基づいています。／管理運営費は年間約24万円程度と少額のため、ここでは表記していません。／奨学生の実績値は実数ではなく補正数を掲示しています（給付金額を奨学生年間支給額〔60万円〕で除した数を補正数としています）。／奨学生の予測数は開始時の予測数ではなく、2021年以降の予測数は厚生労働省の震災遺児の計測数から実績値を加味した予測数です。



支援者からの声

東京福生 R C（第 2580 地区）

東日本大震災から、「震災を忘れない」を合言葉に、毎週の例会で“音のしない募金”をお願いしますと呼びかけ、多くのメンバーに賛同頂きました（2023－24 年度分）。

宇都宮 90 R C（第 2550 地区）

2023 年 12 月 18 日に宇都宮 90 R C クリスマス家族会において、会員・家族がいろいろな品物を持ち寄り、毎年恒例のチャリティーオークションを行いました。その時の収益金を今年も希望の風奨学金に贈呈いたします。

市川南 R C・長井弘亘様（第 2790 地区）

初めまして、市川南 R C 2022－23 年度会長・長井弘亘です。先日、当クラブにて宇佐見透パストガバナーより卓話を頂きまして、ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会の活動を拝聴いたしました。私自身は、身体障害者の父親を看病しながら、大学に通っていました。今、学ぶ学生に支援したいです。

能代白神 R C・平賀優子様（第 2540 地区）

私が宮司を務める日吉神社では震災の年から復興祈願祭を 3 月 11 日に斎行しております。参列者からのお初穂をこの募金に当てることを皆さまに了解いただき、送金いたします。

2730 ジャパンカレントロータリー E クラブ（第 2730 地区）

貴協議会の活動の趣旨に賛同し、当クラブ創立 10 周年記念事業として寄付させていただきます。



奨学生からの声

※アンケート内「ロータリーの奨学金に対し、あなたが感じていること」への回答より

短大 2 年生

いつも私たちのためにご支援いただきありがとうございます。ロータリアンの皆さまのおかげで、大学に進学することもでき、現在の大学生活がとても楽しいです。来年は新入社員として働いていると思いますので、それまでにさまざまなことを経験していきたいと思います。

短大 2 年生

いつもご支援していただきありがとうございます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。おかげさまで楽しく学生生活を送ることができています。これからも、よろしくお願いいたします。

大学 3 年生

厳しい状況の中、支援を継続していただいていることに、感謝しています。

大学 3 年生

いつも支援していただきありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。おかげさまで楽しく学生生活を送ることができています。これからも、よろしくお願いいたします。

大学 2 年生

おかげさまで、夢の一步目となる第一の資格を取ることに成功しました。本当にありがとうございます。

連絡先

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

〒104－0031

東京都中央区京橋 2－11－8 全医協連会館 1 階

国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所内

Tel & Fax : 03-5250-2050

E メール : r.kibounokaze@wave.plala.or.jp

支援口座（口座名義）

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

千葉銀行 銚子支店 普通 3549340

ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

—— 寄付金・財政編 ——

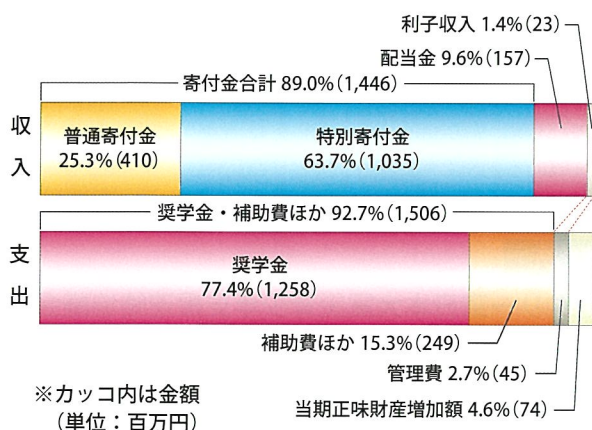
★ 寄付金は、ほぼ全てが奨学金に

2023－24年度の寄付金収入は、14億4,568万円(22－23年度14億2,291万円)と、前年度より増加しました。個人平均寄付額(寄付総額を会員数で割った額)は1万7,293円(22－23年度1万6,960円)。

また、個人として特別寄付をした割合は47.3%と、多くのご支援を頂きました。この中には「恩返し」や「若い世代の応援」という思いを持つ、米山学友からの寄付も含まれています。日頃からご支援くださっております皆さまのお気持ちに、心よりお礼申し上げます。

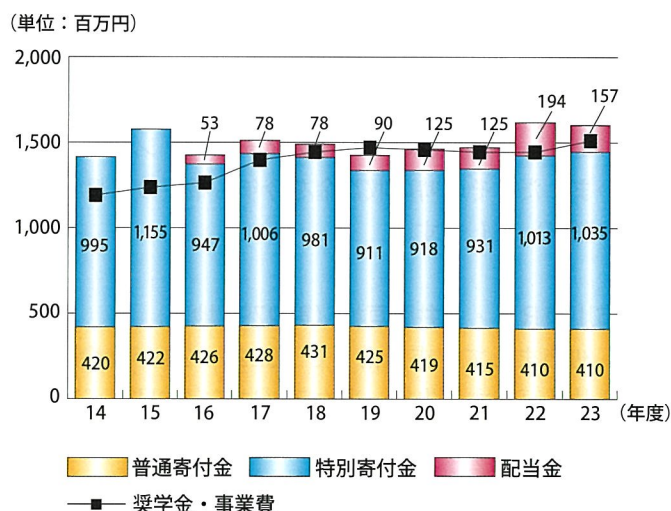
皆さまからの寄付のほとんどは奨学金に活用する他、奨学生・学友関係費、地区・世話クラブへの補助費、当会事業部門の職員人件費などの“事業費”として使われています。23－24年度の支出のうち、事業費の割合は87.9%(15億642万円)と高く、管理費は2.7%となっています。25年4月の採用枠は、奨学事業安定積立資産(余剰金の積み立て)を活用しつつ、950人枠を予定しています。

寄付金の使途(23－24年度決算)



当会では、財政の健全性・透明性確保に十分配慮しています。内部監査に加え、公認会計士による外部監査として、公正な立場から毎月全伝票のチェックを受けています。決算報告と詳細な計算書類は、毎年ウェブサイト上で公開している他、9月下旬までに全クラブへ送付しています。

寄付金と奨学金・事業費推移(14－15～23－24年度)



★ 税額控除が受けられます

当会へのご寄付につきましては、個人の所得税や一部の住民税、法人寄付の場合、法人税が軽減されます。特別寄付をしていただいた個人・法人には、金額にかかわらず、確定申告用の領収証をお送りします。普通寄付金についても、クラブからの申請と会員氏名のデータ提供があれば、申告用領収証を発行します。

当会は寄付金の「税額控除」適用法人であり、確定申告の際に「所得控除」か「税額控除」のどちらか有利な方を選択することができます。税額控除は、寄付額の約40%の金額が所得税額から控除されるもので、所得控除よりも控除額が大きくなることがあります。この他、

寄付の種類

当会への寄付金には「普通寄付金」と「特別寄付金」の2種類があります。いずれも使い道は同じです。

■ 普通寄付金：各クラブが決めた金額×会員数分を国内全クラブから納入いただいているもので、安定財源として必要です。2023年度平均：4,909円

■ 特別寄付金：個人、法人、クラブからの任意の寄付金で、金額は自由です。一定金額に達するごとに表彰制度があります。2023年度平均：1万2,384円

今月の「よねやまだより」は前号に続く「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」、寄付金・財政編です。ご寄付される皆さまにとって最も気になる部分は、寄付金の用途。そのため、前年度の収支決算と寄付金の状況を毎年『ロータリーの友』9月号にて報告しています。また、所得税・法人税などの税制優遇制度、「紺綬褒章」授与申請の条件なども併せてご紹介します。



東京都にお住まいの方は、個人都民税の寄付金控除も併せて受けることができます。法人からの特別寄付については、一般の寄付金損金算入限度額とは別枠で損金算入でき、これにより法人税額が軽減されます。確定申告の際は、ぜひこうした寄付のメリットをご活用ください。

★ 紺綬褒章の公益団体として認定されています

当会は、内閣府から「紺綬褒章」の公益団体として認定されています。紺綬褒章とは、公益のために私財を寄付された方に、国から授与される栄典です。その寄付先として内閣府賞勲局から認定を受けている団体は日本全国で241、うち公益財団法人は72団体です(24年3月1日現在)。個人の場合は500万円以上、団体・企業は1,000万円以上をご寄付いただき、定められた条件を満たした場合に、紺綬褒章授与申請の対象となります。紺綬褒章の申請を希望される場合には、対象の寄付の前に必ず当会にお申し出ください。分納による寄付も可能ですが、あらかじめお申し出いただく必要があります。

★ 奨学生数は寄付額と連動しています

米山奨学生の採用数は、ほぼ寄付額で決まります。全体の寄付が増えれば全国の採用数が増えます。地区割当数は寄付実績から四つの要素、①年間寄付総額：50%、②個人平均寄付額：30%、③特別寄付者割合：10%、

④有資格者数(地区内で対象となる留学生数)：10%の対全国比で算出します。つまり、これらの要素が他地区より増えれば、その地区の採用枠が増えます。

中でも「個人平均寄付額」は、地区の規模に左右されことなく、寄付増進の成果が反映される指標の一つです。1人でも多くの奨学生を受け入れるために、全国各地で寄付増進の取り組みが積極的に行われています。

★ 変わらぬご支援をお願いいたします

ロータリー米山記念奨学事業は、国際ロータリーに認められた日本のロータリー全地区による独自の多地区合同活動です。二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい……という、事業設立時のロータリー会員たちの強い願いを受け継いでいます。日本に学びに来た外国人留学生との心のつながりを世界平和の礎とすべく、今後も皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業、「よねやまだより」についてのご意見・お問い合わせは、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

E-mail: mail@rotary-yoneyama.or.jp

Web: www.rotary-yoneyama.or.jp



米山功労者 表彰品のご案内

第5回米山功労者マルチブルの表彰品として、2023年7月1日から新たなピンバッジが加わりました。累計寄付額50万円に達した方が対象になり、感謝状に、銀色のピンバッジが添えられます。

その他の表彰品としては、累計寄付額10万円ごとの感謝状に加え、第10回米山功労者メジャードナー(累計100万円)に達した方にはピンバッジ(金色、中央にルビー付き)、第20回は同(金色、エメラルド付き)、第30回は同(金色、ダイヤモンド付き)、第40回はクリスタルの盾を贈呈。第40回以降は100万円ごとと同じく盾を贈っています。いずれもご協力の節目に対す

る、感謝の証しです。今後ともご寄付へご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

【新表彰品】※累計寄付額50万円達成時のみ。さかのぼっての贈呈制度はなく、ご寛容のほどお願いいたします。



- ・色は銀色
- ・従来のピンバッジと同じ形で、中央部分の石はなし
- ・プラケース入り

People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

『ROTARY』9月号から

イギリス



マンチェスター都市圏のボルトン・レバー・ロータリークラブ（RC）の元会長クリストファー・ヒルさんは、38歳の時に心臓疾患があると診断され、以来、AED（自動体外式除細動器）の普及に取り組んでいます。2022年、ボルトン地域の他の5クラブと協力し、ボルトンスチームミュージアムに約1,900ドル分（約29万円）のAEDを提供。「心臓のけいれんにはAEDが役に立ちますが、設置場所まで何マイルも離れていることがあります」とヒルさん。彼がウォーキンググループのリーダーも務めていることから、クラブでは彼が携帯できるよう小型で使い捨てが可能なAEDを購入。さらに33人の全会員が、AEDの講習を受講しました。

425人

**1日に心血管疾患で亡くなる
イギリス人の平均数**

イタリア

トリノ・ラグランジュRCは4月の週末、約1,500ドル（約23万円）を費やして、青少年支援センターのペンキ塗り。会員たちはブラシとローラーを手に集まり、作業に汗をかきました。この施設では14～28歳の若者たちにカウンセリングサービスを提供しており、「若者が偏見のない環境で安心して迎えられ、秘密が守られ、困難を乗り越え、変化に立ち向かうのを支援したい」と会員のラファエレ・バタグリーニさん。クラブでは、芸術高校の生徒と提携し、施設のための絵画も制作しました。



27%

**貧困または社会的排除の
リスクにさらされる15～
29歳のイタリア人の割合**

インド

ボンベイ・シーコーストRCは5月、任務中に傷を負った退役軍人とその家族約150人を招き、コンサートとお茶会を開きました。会員は地元の有名人とのつながりを活用。歌手であるヴィジヤイ・ミルチャンダニ会員の妻ニータさんが司会を務めました。「みんなが音楽に合わせて踊ったり、手拍子を打ったりしながら、喜びと活気に満ちた様子で参加していました。椅子に座ったまま、車椅子に乗ったまま参加した人たちもいました。まだ腕力に自信のある人は、いたわりの気持ちを表し、手足を失った元兵士の仲間も楽しめるようサポートしていました」と、元クラブ会長のサンパス・アイエンガーさん。



カナダ

バンクーバー・ブリティッシュ・コロンビア大学ローターアクトクラブが主催する「Car Smash for Charity」は、廃車になった車を野球のバットで思い切りたたきチャリティーイベントです。4月の期末試験の前にキャンパス内で開催され、大学生や教員、地域住民ら約200人が参加。2,200カナダドル(約24万円)以上が集まり、教育関連の活動のために寄付されました。ボコボコになった車はリサイクルのために廃車会社が回収。「参加者はストレス発散と力試しを楽しみながら、慈善活動に貢献できます」と、同クラブの元共同会長サラ・リーさん。さらに過去3年間にわたるこの活動について「イベントの反響の大きさに、いつも驚かされます」



2,600万台以上

2022年にカナダで
登録された自動車台数



アメリカ

ニューヨーク州のパッチョーグRCは、3月のアイルランドでの祝祭日「聖パトリックの祝日」に合わせ、過去十数年にわたり祝宴を開催。これまでに13万8,000ドル(約2,100万円)以上の資金を獲得してきました。毎年約250人のゲストを迎え、参加者は1人当たり125ドル(約2万円)を支払い、食事や会話を楽します。今回は会員のバンドが演奏して陽気な雰囲気を出した。「会場では子ども時代の少し恥ずかしい話や、赤ちゃんの写真などが披露されました。友人や身内同士がジョークでからかいながら楽しんでいました」と、会員のポール・モランさん。収益のうち、1万7,000ドル(約260万円)以上が地域の財団に寄付され、主に青少年サービスに充てられた他、地区が運営する障害者向け居住プログラムに活用されました。



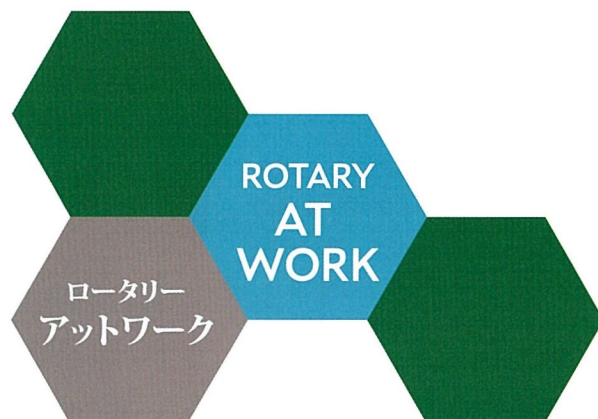
11%

ニューヨーク州で暮らす
アイルランド系住民の割合

2004年

インド政府が退役軍人
福祉局を設立した年





相撲強豪校で力士たちを激励！

糸魚川RC

第 2560 地区・新潟県

当クラブでは、スポーツを通じた健全な青少年の育成活動支援を続けています。前年度は 35 回目の開催を迎えた青少年野球大会の支援に加え、6 月 8 日には新潟県立海洋高校相撲部を激励するため、稽古場を訪問してきました。

同校は、今年 5 月の大相撲夏場所中、初土俵から所要 7 場所で史上最速優勝を果たした力士・大の里の出身校で、高校相撲の全国大会上位常連校です。

当日の稽古は張り詰めた空気の中、部員たちが体をぶつける音が響き渡っていました。立ち合いでの鋭いまなざし、稽古が厳しくとも互いを鼓舞することによって、自分の限界を超えていくさまが私たち素人にもはっきりと伝わってきます。大きな目標に向けて、挑戦を続ける彼らを目の当



たりにして、日常のこまごまとした事柄にとらわれ、いつしか私たちが忘れてしまった挑戦する心呼び覚まされた気がしました。

稽古後に相撲部の皆さんの激励セレモニーを実施。樋口浩会長（当時）がエールを送り、力をつけてもらおうと食料品目録を贈呈しました。その後は、指導者の皆さんと昼食を共にし、貴重な話を伺うなど、有意義な時間が過ごせました。

当クラブでは、スポーツ支援のほか、青少年を対象とした自然学習活動にも注力しています。今後も青少年や地域に喜ばれる活動を続けたいと思っています。

トライアスロン大会支援は大好評！

宮崎中央 R C

第 2730 地区・宮崎県

6月30日、第26回宮崎シーガイアトライアスロン大会がみやざき臨海公園をメイン会場に開催され、全国から約550人の選手が出場しました。

同大会は、小学生から高齢者、障害のある人も安心して参加できる大会を目指して開催されています。当クラブは青少年の健全育成に力を入れていることから「スポーツで未来に羽ばたく子どもたちを応援しよう」と初回から大会のサポートを続けています。

大会は、ロータリーの奉仕活動を地域の皆さんに広く知ってもらう良い機会と考え、会場内のテントやフィニッシュテープにロータリーのロゴを表示した他、会員やインターアクター、ローターアクター、高校生ボランティアがクラブ名入りのビブスを着用してPR。協力し合って選手をサポートすることで、大会の盛り上げにも一役買うことができました。

中でも、エイドステーション（選手が競技中に水分や食べ物を補給する場所）での熱中症予防のための給水対応とフィニッシュ地点での子どもたちへのこまやかなフォローは大好評でした。



また、当クラブは小中学生を対象に「宮崎中央ロータリークラブ会長賞」を設けており、表彰式で江口健一会長（当時）が優勝者にトロフィーを授与。見事、コースを完走した子どもたちの笑顔とともに、大会は閉幕となりました。

今後もこの大会を当クラブの奉仕プロジェクトの一つとし、より充実した大会になるように協力していきたいと思っています。



新種登録ヒメタツを守れ

水俣 R C

第 2720 地区・熊本県

7月13日、水俣高校 I A C との「海と川のクリーンアップ作戦」は線状降水帯発生により中止。急きょ、マダイの稚魚の放流のみに予定を変更して実施しました。

地区補助金を活用した本事業は、2017年の秋に新種登録されたタツノオトシゴの仲間・ヒメタツを守るべく、生態系を乱すウニの仲間・ガンガゼを捕食するマダイを放流し、多くの人にロータリーと「元気な水俣の海」をPRすることが目的^{あんど}です。放流時には雨もやみ、インターアクターの喜ぶ姿に安堵しました。

学友と共に 尾瀬をハイキング

第 2770 地区

埼玉県

当地区では毎年、米山奨学生や青少年交換学生に声かけし、1泊2日で富士登山を開催しています。その前段階として、7月13日に米山学友のジョン・ミン君が登山初心者を対象とした尾瀬ハイキングを企画、16人が参加しました。下写真のように平たんな木の板の上を歩くイメージでしたが、実際は山あり谷あり。大汗の中、やっとの思いで下山しました。

奨学期間が終わっても、会員が学友に声をかけることで、その関係性は深まっていくと実感した一日でした。



商店街で小学生の職業体験

室蘭 R C

第 2510 地区・北海道

6月23日、当クラブは市内の小学生約120人を対象に職業体験イベント“キッズあきない”を行いました。

事前に参加を呼びかけたところ、締め切り前に定員となり、イベントへの関心の高さが感じられました。また、関係諸機関の許認可を得て、商店街の一部を車両進入禁止とし、歩行者天国に。市や教育委員会、商工会議所、消防団、観光協会からの後援、警察署や自動車整備協会からの協力を得て、子どもたちに得難い体験を提供することができました。

迎えた当日、子どもたちの職業体験がスタートしました。警察官体験では、子ども用の制服をまといパトカーに乗車。本物のサイレンを鳴らして、交通違反者の取り締まり役に意欲的に取り組んでいました。消防士体験では、防火服を着てホースの構え方を学びます。その他にも、自動車のタイヤ交換や屋台でのクレープ作り、串揚げ店での配膳など、それぞれの仕事に一生懸命、取り組んでいました。

職業体験を終えた子どもたちは報酬として、事業開催時



間内のみ有効の地域通貨1,000円を受け取ると、今度は“お客さん”として買い物を楽しみました。

当地区9グループの会員支援も得ての本事業は、当クラブが前年度に掲げた「TRY and TRY 希望の種をつかみ取る」を十分に体现できたと思います。



合唱を通じ 子どもたちと交流

福岡東南 R C

第 2700 地区・福岡県

6月17日、当クラブの合唱団「ハーモニーフレンズ」の13人が福岡東子ども発達センター・さくら園を訪問しました。園児が大好きな「おもちゃのチャチャチャ」など5曲を合唱し、楽しい音楽交流会となりました。

昨年の秋、当クラブがさくら園へ電子ピアノや遊具を寄贈したことがきっかけで、このたびの交流会が実現しました。同園の園長からは「音楽は子どもたちの情操教育に欠かせない」との感謝の言葉を頂くことができました。

アニメ上映&トークで 子どもに夢を

金沢香林坊 R C

第 2610 地区・石川県

当クラブは6月15日に県立図書館内で、世界的アニメスタジオ・トンコハウスのアニメ上映と、同スタジオから稲田雅徳氏、松木蓮氏を迎えてのトークショーを開催しました。当日は能登半島地震で被災した七尾市の親子を招待、一般の方など、約140人の参加を得ました。

当イベントは、被災した子どもに楽しい思い出と夢を与え、「好き」から始まる好奇心を育む大切さを学んでほしいとの思いから実現しました。今後も復興や子どもの笑顔のためにできることを頑張りたいと思います。



コントラバス指導と修繕

伊勢崎市内5RC

第2840地区・群馬県

伊勢崎、群馬境、伊勢崎中央、伊勢崎南、伊勢崎東RCは毎年、合同事業を行っています。今年は6月2日に当地出身のプロベーシスト・須川崇志氏と、楽器修理に定評がある高崎秀彰氏を招き、リペアや調整、演奏指導のワークショップを開催しました。

一日を終え、参加した市内の中高生からは「音が大きくなった」「演奏しやすくなった」と好評。また、後援の市教育委員会からは「部活動の地域移行の好例」との評価を頂き、意義のある事業になりました。



盲導犬と一緒に街頭募金

和歌山アゼリアRC

第2640地区・和歌山県

当クラブは2002年から継続する盲導犬育成支援活動の一環として、5月27日にJR和歌山駅西口で「ワンワン基金街頭募金」を行いました。当日は会員や当クラブ提唱の慶風高校ACメンバー、ボランティアら約20人が参加した他、(社福)日本ライトハウス盲導犬訓練所の協力を得て、総勢10頭の盲導犬や引退犬が応援に駆け付けてくれました。盲導犬への理解不足による入店拒否などが起こらないよう啓発を行い、一人でも多くの視覚障害者に盲導犬を貸与できるよう、活動を続けたいと思います。

東大阪三世代ふれあいまつり

東大阪中央RC

第2660地区・大阪府

6月29日、当地区にある吉原北公園で「第一回東大阪三世代ふれあいまつり」を開催しました。本事業は、当クラブ創立35周年時に記念植樹した桜が成長とともに枯れ葉が増えたことで、管理が大変であると公園管理組合より伺ったことがきっかけ。そこで当クラブ初の女性会長である名村美紀会長(当時)と社会奉仕委員が中心となって、「公園をきれいにすることで地域活性化を目指そう」と今回の企画が始動。地域の子どもたちや参加者に落ち葉を拾ってもらい、その落ち葉を通貨としてワークショップなどに参加できるというものです。

イベントでは、地元の警察署の協力を得て、白バイやパトカーの乗車体験ができるコーナーを設置。子どもたちだけでなく、大人も無邪気な笑顔で楽しんでいたことが印象的でした。

ワークショップでは、地元のアーティストと共に絵の具まみれになるアート体験や数学者による無限を日常的に感じられる円周率を使った遊び、音楽家と一緒に声や民族楽器を用いて音の世界を体験できる催しなどを行いました。

また、当クラブでは昔のおもちゃ体験のブースを出展し

ました。三世代が交わる公園づくりを目指し、子どもたちと竹とんぼを空高く飛ばしたり、こまやヨーヨーの遊び方を伝授したりと、会員たちも童心に返って盛り上がりしました。

子どもたちが主役となれる一日があることで、「ここで暮らして良かった」と地域の皆さんに思ってもらえる町になるのだと思っています。

第二回は地元の企業にも参加してもらい、規模をさらに拡大しての開催を計画しています。



ウクライナのチャリティーリサイタル

大阪帝塚山RC

第 2660 地区・大阪府

6月16日、真宗大谷派難波別院の本堂にて、ウクライナ出身のピアニスト、タチアナ・ドネツ氏によるウクライナへのチャリティーピアノリサイタルが開催されました。

タチアナ氏は昨年、オーストリアのペルチャッハで開かれた第29回ブラームス国際コンクールで2位に入賞。コンクール後に、留学先のイスラエルに戻ろうとした直前に、イスラム原理主義組織・ハマスによるイスラエル襲撃が起こり、入国ができなくなりました。そこで、同コンクールの審査員を務めた（一社）日欧芸術文化振興会の代表理事で指揮者の宮城敬雄氏の尽力により、11月末に一時避難のため訪日。東京では計4回のリサイタルを開催し、今回の演奏会を最後に7月にイスラエルに戻りました。

今回のリサイタルは、宮城氏と当クラブ会員が高校の同級生という縁があり、クラブは協賛として5万円を寄贈。また、地区パストガバナーで当クラブ会員の泉博朗氏から各クラブに呼びかけ、約300人が会場に詰めかけました。



リサイタルではタチアナ氏が最も敬愛し、得意としているブラームスの「ピアノ・ソナタ第1番ハ長調作品1」をはじめ、バッハ、ショパン、シューベルト、ドビュッシー、パガニーニなど幅広いレパートリーを感情豊かな演奏で披露。本堂を埋め尽くした聴衆を魅了しました。

タイへの医療支援の視察

熊谷RC

第 2570 地区・埼玉県

6月9～14日にかけて、当クラブは地区国際奉仕委員会と深谷ノースRCと合同で、タイのシンブリー県にある3病院を訪問しました。目的は医療環境の状況確認と今後の支援についての意見交換会。県知事が最後まで出席するなど、本事業への期待の大きさが伝わりました。

訪問では、同県の公立病院は新しい医療機器を導入する資金がないという厳しい現状を認識。関係者からは協力への感謝の言葉もあり、さらなる支援を続けていこうと決意を新たにしました。



友愛奨学生への支援報告

東京米山友愛RC

第 2750 地区・東京都

6月25日、当クラブは在日ウクライナ大使館を訪れ「友愛奨学生」支援の報告を行いました。「友愛奨学生」とは同国在日大使館の協力を得て開始した、クラブ独自の奨学生制度で、日本にいるウクライナ避難民の大学生・大学院生を対象としています。

選考された奨学生2人は、ウイルス感染・予防や戦時下の児童のメンタルヘルスなど医療系の研究を行っており、日本での活動を望んでいます。この支援が2人の夢の実現や両国の関係発展につながることを期待しています。



地区を超えての支援活動

金沢東RAC

第2610地区・石川県

6月7日、当クラブは第2580地区（東京都・沖縄県）の嶋村文男バスターガバナーを中心とした「チーム嶋村NOTO」とともに、石川県七尾市中島町でボランティアに参加。当日は、倒壊した納屋の解体作業や土蔵のしっくい分別・回収を実施。震災の爪痕が生々しく残る町の様子を見て、息の長い支援の必要性を感じました。

今年度、当クラブを含む地区RACは能登復興支援に注力していく予定です。ロータリーファミリーの方々の参加にも期待しています！

友好クラブとの国際事業

貝塚コスモスRC

第2640地区・大阪府

6月28日、当クラブ会員3人が台湾・花蓮県光復郷の大興村で行われた貯水タンクの寄贈式に参加してきました。きっかけは、友好クラブである台北松山RCからグローバル補助金プロジェクト実施の要請があったことです。

大興村は、台風や洪水などによる水害が多い地域で、きれいな水の安定供給が難しい環境でした。今回、寄贈した貯水タンクは浄水機能を備えており、今後この設備を活用してもらうことで、地域に喜んでもらえることを願っています。



「カワモニ御朱印帳」でクラブの活性化

川口モーニングRC

第2770地区・埼玉県

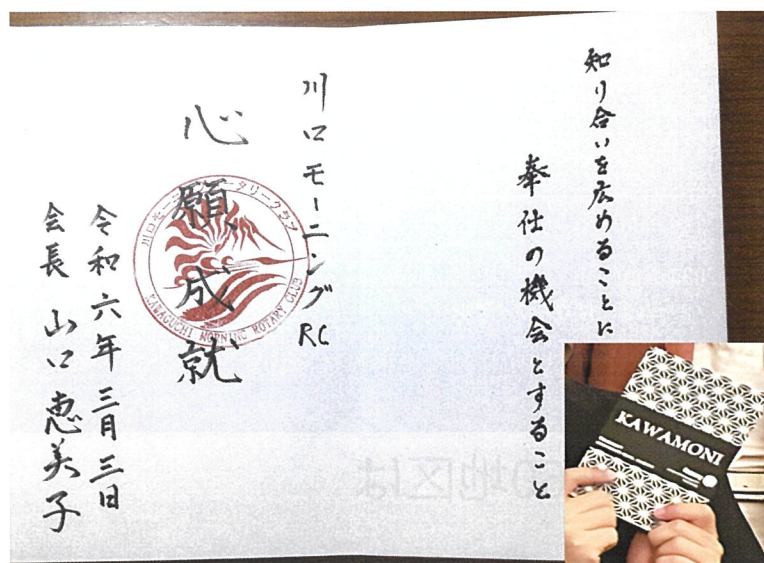
川口モーニングRC（通称カワモニ）は会員増強委員長が発案で、奉仕・親睦活動の活発化のため「カワモニ御朱印帳」を制作し、他クラブへのメークアップやイベントへの積極的な参加を推進していくことにしました。これは「知

り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」という「ロータリーの目的」の第1項を実践するためです。

今年の3月上旬にフィリピンで医療機器を寄贈した際も「カワモニ御朱印帳」を持参し、現地のカラーカン・モニュメントRCの会長から記念にサインをもらって交流を深めました。「御朱印帳」という日本の文化を紹介し、それがコミュニケーションのツールにもなったことで、初対面でもスムーズな親睦を図ることができました。

「カワモニ御朱印帳」は会員全員に配布しました。できたばかりの御朱印帳を手にして「次はこのクラブにメークアップに行く？」などと楽しそうに会話している様子を見ると、クラブ活性化への効果を実感します。当クラブの会員が「カワモニ御朱印帳」を持参してメークアップに伺った際は、ぜひ、サインをお願いします。

当クラブではこれからも積極的なアイデアを出し合い、会員全員でロータリーを楽しみながら、活動を続けていこうと思います。





提供：2025年日本国際博覧会協会

2025
4/13 SUN
10/13 MON
夢洲 大阪府大阪市
此花区

大阪・関西
万博へ
行くところ！！

締切迫る！

9/20
まで

開幕日入場チケット

万博開幕日に入場できるチケットを当地区が手配します。
ご希望の方は各地区ガバナー事務所へお問い合わせください。

2660 万博関連
ホームページ



<https://ri2660-expo.com>

チケット代 ¥4,165 (開幕券4,000円＋記念チケット代165円)

※ ご来場希望の方はクラブで取りまとめいただき、各地区ガバナー事務所あてにお申し込みください
※ 館内パビリオンには入場のために別途予約が必要なものと不要なものがあります

開幕祭

2025年4月12日(土)
大阪国際会議場

集まれ！
ロータリー
ファミリー

開幕前夜は、
「いらっしゃーい！ オオサカ！」
全国から集結のファミリーで
一緒に盛り上がりましょう！

参加費

¥15,000 ロータリアン・パートナー

¥8,000 ローターアクター・ロータリーファミリー

開会式 16：30 ～ (5Fメインホール)
懇親会 18：30 ～ (3Fイベントホール)

〈ロータリー関係情報お問い合わせ先〉

第2660地区ガバナー事務所

TEL:06-6264-2671

e-mail:expo@ri2660.gr.jp

〈万博一般情報お問い合わせ先〉

協会HP <https://www.expo2025.or.jp/>

掲載のメールお問い合わせフォームまたは専用ダイヤル

TEL:0570-200-066

国際ロータリー第2660地区は



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025



行政と地域のボランティア団体 との協働プロジェクト始動！

創立：1970年6月3日

会員数：30人 例会日：第2火曜
日 19:30～20:30（オンライン）／

第4土曜日 10:30～12:00（対面）

スポンサークラブ：相模原RC

（第2780地区 神奈川県）



①～②街美化アダ
プト制度活動
③～④昨年度最
終例会に他クラブ
会員が集まりプ
チ地区大会のよう
に
⑤児童養護施設
の子どもたちとハ
ロウィーンの飾り
付け

相模原ローターアクトクラブ（RAC）は、海外出身者が全体の約4割を占めるグローバルなクラブです。コロナ禍で会員が1人になった時、スポンサークラブに従業員や家族、米山奨学生や学友を紹介していただき、10人以上の会員増強を果たし、存続危機を脱出した経緯があります。スポンサークラブとの日頃からのコミュニケーションや協力体制があってこそ、急拡大でした。

現在は、児童養護施設訪問や防災イベント、能登半島地震や台湾東部沖地震復興支援募金活動などを行っています。昨年度からは相模原市との協働プロジェクト「街美化アダプト制度」をスタート。近年、清掃を行うボランティア団体の高齢化と、担い手不足が急速に進む地域のニーズを捉え、自分たちができることを始めたいと思い参画。7つのボランティア団体がエリアごとにごみ拾い、公共施設の除草や花植えの美化活動などを行っています。インターアクターも加わり、相模原市の名所でもある、全長約1.5kmの市役所さくら通りの約300本の

桜の大木やケヤキなどの落ち葉を回収し、市民に腐葉土として活用してもらうことで、処理の軽減と再利用に向けた取り組みを実践しています。

この活動を始めたことで、地域社会を見る力を養い、ロータリーファミリーとしてのつながりをより実感しております。活動中、地域の方々から「お疲れさま」「ありがとうございます」「どんな団体の方々ですか？」と声をかけられることが多くなり、地域社会とのつながりも体感しています。

これからも地域のニーズに応えられるようなクラブを目指し、取り組んでいく予定です。一緒に活動をしたい会員の方や当クラブに興味があるクラブからのご連絡をお待ちしています。（相模原RAC 梅田宣成）

POINT

会員数1人から
1年で10倍以上に

Let's Collaborate

連絡先
sagamiharac@gmail.com

Instagram



Facebook



あなたの地域で活躍するローターアクトクラブの取り組みを、編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

私を変えた友人の一言

ローターアクトター 嵐 脩真



数年前のこと。運転免許の合宿で知り合った友人に10年ぶりに会うため、呼び出された喫茶店へ向かった。彼は席に着くとNGOの活動でアフリカ・スーダンの紛争地にいることや、日本には年に1カ月もないことなどを矢継ぎ早に話し、「現地の子どもが1年

間学校に通える」と2,000円の寄付をお願いしてきた。

貴重な日本の滞在時間が私への2,000円の寄付依頼でいいのだろうかと思い、ローターアクトクラブに所属し、奉仕活動を行っているという友人を当たった。する

と、彼を招いての合同例会が急きょ企画され、最終的に当初の200倍の寄付が集まった。

その時に心を揺さぶられ、今のクラブへの入会を申し出た。当時は腰掛け的な入会のつもりだったが、結果的に会長まで務め、Team RYLAとしてセミナーにも携わり、どっぷりとロータリーに関わることになる。

その中でボランティアなモチベーションのある活動の力強さや勢いを感じることもあれば、コミットメントのむろさという課題に直面することも多々ある。今は20代前半の新メンバーに恵まれ、引き継ぎに追われている。

慌ただしい日々ではあるが、今まで頑張ってきたのは、冒頭の彼が喫茶店を出る間際に訴えた「今、世界で起きていることをひとごとと思わないでほしい」という一言があったからかもしれない。改めて彼やロータリーに感謝したい。

大阪市在住。大阪帝塚山RAC会員。2023-24年度会長、今年度会計。22年、第2660地区RYLAセミナー修了。以後Team RYLAで活動。趣味はSNSに愛犬のチワワの写真をアップすること。

地域社会を担う存在へ

ローテックス 熊本勇太郎

皆さんは「将来の夢」の作文にどんなことを書きましたか？ 私は「ハンバーガーショップの店員さん」と書き、両親に「現実的過ぎる」と笑われた記憶があります(笑)。でも当時を振り返ると、目先の課題に必死で本当になりたいものがなく、ただ漠然と「人の役に立てる存在になりたい」というイメージを持っていました。

私には今、「地域社会を担う存在になる」という夢があります。そのきっかけは青少年交換留学でした。

私は留学先のフランスで、バスや電車が遅延して文句を言ったり、ガソリン税の値上げを阻止するデモを行ったり、シビアな政治的発言をするフランス人を多く見ました。しかし、そんな彼らには「人とのつながりを通して得られる精神的余裕」があると感じました。

この経験から社会の在り方、捉え方、社会への期待感

や失望感が、国民性や生活、言動などによって、こうも変わるものなのかと感じました。そして、日本には何が足りていないのかと考え始めました。そうして出た結論が「自ら社会をより良くしていく力」と「精神的な豊かさ」でした。

帰国後は大学で政治を学び、ロータリーの活動を通して、人とのつながりや実現すべき社会像を追求してきました。抽象的で無謀なことへの挑戦かもしれませんが、政治的な場所のみならず、一市民、一事業者として、多角的な視点から社会づくりを担える存在になりたいです。

栃木県出身。明治大学政治経済学部4年。2018-19年度第2550地区青少年交換学生としてフランスへ派遣。今年度同地区ローテックス会長、RYLA学友会所属。趣味は映画観賞。



●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。hensyu@rotary-no-tomo.jp

パズルdeロータリー

奇数月は「おもしろパズル」

例会中は解かないでね!

書き足して完成!

出題：小野寺 紳
作画：ライトマン

①②③それぞれに二つの会話があります。二つの会話の□の部分には同じ平仮名の言葉を入れると会話が完成します。会話の内容とヒントを頼りに会話を完成させてください。ただし、ヒントがどちらの会話のヒントなのかは分かりません。

①「旅行先ではどんなところへ行くの?」

「□□□□□に行きます」

「お醤油がもうないみたいだよ」

「□□□、□□に行きます」

ヒント

古い宗教的な建物で、美しいステンドグラスなどがあるらしい



②「部長、仕事の件でお伝えしたいことがあります」

「□□□□があるんだね」

「どうだい、新しいビールの味は?」

「□□、□□があるんだね」

ヒント

ビジネスの場では「連絡」や「相談」と並んで大切



③「仏像を見るのにお金がかかるんですね」

「□□□□□□□です」

「もう、作業は終わったんですか?」

「□□、□□□□□です」

ヒント

完全に終了しました。



①～③のマス目に、それぞれ平仮名で答えてください

答え

① □□□□□□

② □□□□□

③ □□□□□□□□

いつでもどこでもラジオ体操

アタマの次はカラダを動かせ!



毎月5人に
体操ブービーを
プレゼント!!

◆パズル de ロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに①「9月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階 (一社) ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄(縦組み)に転載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php



◆締め切り◆ 2024年10月10日(木)必着(当選発表は12月号)

●パズルdeロータリー(6月号)の答えと当選者は、横組みP45に掲載しています。

詰め碁



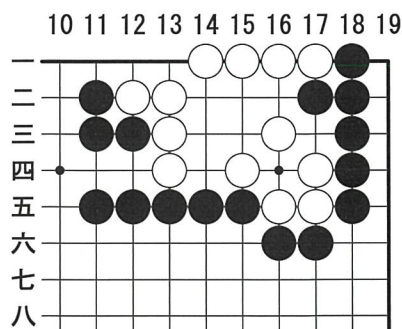
出題

日本棋院

問題

黒先 捨て石の手筋で手にします。
(5分で初段)

●詰め碁の解答は、横組みP45に掲載しています。
(※詰め碁にはプレゼントはありません)





*アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（R I）世界本部の所在地です

R I理事会の決定事項 (2024年5月・7月)

2023 - 24年度R I理事会は、2024年5月23日に会合を開き、9の委員会報告を確認し、24の決定を行いました。2024 - 25年度理事会は、2024年5月30日に会合を開き、7月1日の就任を前にさまざまな運営上の決定を採択しました（7月1日より有効）。これらの会合は、ロータリー国際大会に合わせてシンガポールで開かれました。

管理運営関連

理事会は、

- ・執行委員会が管理委員長と協議の上、ジョン・ヒューコ事務総長と2024年7月1日から2028年6月30日までの新たな有期契約を交渉し、締結することを承認しました。
- ・国際協議会で毎年発表される、行動計画に基づく一連の会長メッセージを承認しました。これらのメッセージは、毎年の会長テーマに代わるものとなります。
- ・テクノロジーおよび運営に関連する以下の戦略を承認しました。

R Iは、会員のすべての主要データに関する情報源となることを目指し、以下の目標を掲げる：

- ・一貫した体験を会員に提供する
- ・データの重複、不一致、混乱を減らす
- ・会員をよりよく理解し、適切でより価値のある個別のサービスを提供する

クラブ・地区関連

理事会は、

- ・第8ゾーンによる地域化の試験的取り組みの状況を確認し、この取り組みへの資金提供の継続を承認しました。

会合関連

理事会は、

- ・2025年国際協議会中の2日間、ローターアクターが参加することを承認しました。

財務関連

理事会は、

- ・2024 - 25年度予算として、収入総額135,313,000米ドル、支出総額136,194,000米ドル、準備金1,286,000米ドルを承認しました。
- ・2024 - 25年度ロータリー財団プログラム予算に、用途が指定されていない寄付から113,077,000米ドルの使用を承認しました。

2024 - 25年度理事会の 最初の会合での決定

理事会は、

- ・ハンス・ヘルマン・カステン理事を2024 - 25年度R I副会長として承認しました；
- ・ベス・スタップス理事を2024 - 25年度R I財務長として承認しました。
- ・理事会は、第4、6、10 A、12、15、19、24 A、26、30ゾーンが2024 - 25年度に委員会を選出し、2027年7月1日に就任するR I理事を指名することに同意しました。
- ・2024年7月15日までに年次財務表と財務報告書を提出しなかった代表議員と補欠議員を解任することに同意しました。

-Rotary International

今後のR I国際大会

2025年6月21～25日

カナダ・カルガリー

(以下、予定)

2026年6月13～17日

台湾・台北

2027年6月5～9日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

2028年

未定

2029年5月26～30日

アメリカ・ミネソタ州ミネアポリス

2030年5月25～29日

アメリカ・イリノイ州シカゴ

統計

全世界ロータリアン総数

1,144,423人

クラブ数 36,526クラブ

地区数 515地区

国と地域 200以上

ローターアクト会員数 114,625人

クラブ数 8,673クラブ

国と地域 160以上

インターアクト会員数 340,455人

クラブ数 14,781クラブ

国と地域 150以上

2024年7月16日現在

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

野生型ポリオウイルス による症例数

掲載ウェブサイト：

GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）

polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/（2024年7月24日現在）

		2024年	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	9	6	20	1
	アフガニスタン	9	6	2	4
非常任国	モザンビーク	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	1
世界合計		18	12	30	6



RI 指定記事

ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

未来へのレガシー

アメリカの哲学者ウィリアム・ジェームズは「人生の優れた使い道とは、人生そのものより長く残るもののために使うことである」と述べています。家族や友情を通じてレガシーを残す人、信仰や信条を通じてレガシーを残す人、職業を通じてレガシーを残す人もいます。そしてロータリー財団は、もう一つの強力な選択肢を提供しています。

私は、ロータリー財団恒久基金を通じてレガシーを残すことの影響力を信じています。最近、ロータリーの会員が遺産を未来に託す支援をし、本当に身の引き締まる思いがしました。

私たち夫婦が所属する第 6860 地区（アメリカ・アラバマ州北部）では、

これまで恒久基金に焦点を当てたファンドレイジング晩餐会^{ばんさん}を企画したことはありませんでしたが、今こそその時だと思いました。寄付による長期的なインパクトを強調し、「レガシーディナー」を開催することにしました。

当初は進捗が遅く、目標の 100 万ドルを集められるかどうか懐疑的な見方もありました。しかし、私たちは楽観的な姿勢を保ち、昨年度、ロータリーの創立記念日である 2 月 23 日を目標達成日とし、委員会メンバーは地域の各地を訪れ、少人数のグループと炉辺談話をし、寄付について話しました。その後、多額の寄付が寄せられるようになり、ある会員からは 2 万 5,000

ドルの寄付の誓約と、1 万ドルの小切手を頂きました。他の会員もこれに続き、20 万ドルを超える寄付が集まりました。

目標までの道のりは長いものですが、私は、機会を与えられればロータリーの会員は必ず応えてくれることを知っています。その寛大な支援を物語るものとして、50 万ドル、56 万ドルと 2 度も遺贈の誓約のサプライズがありました。

最終的に私たちは、目標額の約 3 倍もの寄付を集めることができました。これらのご寄付は、永続的にインパクトをもたらしていくでしょう。

2025 年までにロータリー財団恒久基金を 20 億 2,500 万ドルに増やすという目標は、クラブや地区が単独で達成できるものではありません。全ての人が今すぐ、あるいは計画の一部として 2 万 5,000 ドルを寄付できるわけではありません。しかし、私たちの多くにとってそれは可能であることを知っています。

ぜひ、恒久基金の目標達成にご協力をお願いします。後世にレガシーを残しましょう。ロータリー財団管理委員会を代表し、皆さまの惜しみないご支援に感謝いたします。

MARK DANIEL MALONEY

2024-25 年度ロータリー財団管理委員長

RI 指定記事

カルガリー国際大会

新旧の友人



『The Rotarian（現・ROTARY）』誌はかつて、1953 年にパリで開催された国際大会を「友情のエキサイティングな冒険」と評しました。この表現

は、それ以前、それ以降の全ての国際大会に当てはまるものです。6 月 21～25 日、カルガリーで開催される国際大会は、旧交を温め、新たな友人を見つける機会となるでしょう。国際大会経験者は言います。「国際大会では、紹介者無しでも誰とでも話ができます。積極的に友人をつくりましょう」「新たな親友がきっと見つかる」と言い切れるのは、私自身、過去何年にもわたってそれを経験してきたからです」「世界中に友人をつくれる機会は国際大会をおいて他にありません」

今日、会員同士が互いの心の健康を支え合うことが奨励されています。国

際大会で築いた友情が人生の険しい道のりを滑らかにします。

ポール・ハリスは、ロータリー創始に当たり、単なる知り合いではなく、真の友人を探していました。2001 年のサンアントニオ国際大会でフランク J. デブリン元 R I 会長は、「私たちが新たな友人をつくるのは、それがあらゆることの土台となるからだ」と述べました。カナダの国際大会で、皆さんは新たな友人と出会います。何年たっても、そのつながりが断たれることはないでしょう。

国際大会の詳細・登録はこちら
convention.rotary.org/ja

ロータリーと共に
ポリオをなくそう

世界
ポリオデー
10月24日



世界ポリオデーに向け
活動を記録しよう





「会員が貢献し、率先し、
成長するための有意義な
機会が与えられることで、
積極的なかわりが
生まれます」

ロータリー行動計画

参加者の積極的な かわりを促す

ルーイ・ド・リアルさんに聞く

ルーイ・ド・リアルさんは、サンフランシスコ・デルモンテ・ロータリークラブと
サンフランシスコ・デルモンテ・マラヤ・アチーバーズ・ローターアクトクラブ
(フィリピン、ケソンシティ) の会員です。過去13年間、ロータリークラブと
ローターアクトクラブで複数の役割を果たし、現在は国際ロータリー会員増
強委員会の委員を務めています。

Q: 効果的な参加促進とは何を意味しますか。

ルーイ: 会員が貢献し、率先し、成長するための有意義な機会が与えられることで、積極的なかわりが生れます。会員がどのような個人的・職業的つながり、メンターシップ、リーダーシップ開発、奉仕の機会を求めているかを聞き、それらを提供することで積極的な参加を促すことができます。

私がローターアクトに入会した頃、あるロータリアンがオリエンテーションを行ってくれました。ローターアクトは、ビジネスリーダーや地域社会のリーダーと一緒に活動し、彼らの個人的なリーダーシップや専門的な経験について聞く機会であることに気づきました。若者は多くの青少年団体に参加することができますが、ロータリーのような団体を見つけることは稀です。ロータリーでは、さまざまな世代の人たちと交流し、プログラムや活動に参加することができます。

Q: 積極的な参加についてすべてのロータリークラブとローターアクトクラブの会員が知っておくべきことは何ですか。

ルーイ: 私たちがロータリーに参加する理由はたくさんあります。つながりを築くため、奉仕するため、学ぶため、あるいはシンプルに楽しむためです。したがって、ロータリーを通じて提供されるすべてのプログラムについて、新会員と既存会員に周知することをお勧めします。

会員の中には、楽しむためにクラブに入会したものの、そのクラブでは主に奉仕活動に注力しているため、楽しみや親睦の時間があまりないといった場合も見受けられます。私が新会員だったら、もちろん奉仕活動に関心を寄せるでしょう。でも、毎日そればかりだったら、いずれ興味を失っていくと思います。ロータリーでは多くの機会があるのですから、複数の機会をクラブとして提供すべきだと思います。クラブレベルではなかなか難しかったとしても、地区や多地区レベルで提供されているプログラムを推進することができます。

要は、会員と対話することが重要なのです。どんなことに興味を抱いているのか、クラブでどんな活動をしたいかを聞いてみましょう。会員のニーズを理解し、会員の関心を基にしたロータリークラブまたはローターアクトクラブの運営モデルを考えることに時間を費やす必要があります。こうすることで、会員と参加者がなぜロータリーとかかわりを持つことを決めたのか、また、会員がロータリーに留まる理由を明らかにすることができます。

Q: ローターアクトとロータリアンの協力の機会にはどんなものがあるのでしょうか。

ルーイ: スポンサーのロータリークラブの例会に招かれたことがあります。どうも形だけのようでした。私がクラブ会長になったとき、次期のロータリークラブ会長に、単にローターアクトがロータリーに加わるというのではなく、一緒にプロジェクトを計画することを提案しました。これにより、ローターアクトとロータリアンは、単に会合で挨拶をするだけでなく、面識を深めることができました。

ロータリアンの中で、ローターアクトはただそこにいるという存在ではなく、会員としての体験の重要な一部である

という認識が高まっていきました。ローターアクトとの協力を深めることで、すべての会員にメンターシップと相互に学ぶ機会を提供することができます。私たちの場合はそこから成長できました。私たちの例会は、ロータリアンのみでなくローターアクトも参加できますし、ローターアクトがロータリークラブの例会を取り仕切ることもできます。ローターアクトとロータリアンの両方に、イノベーションを促進する世代間のラーニング、メンタリング、パートナーシップ、関係構築を行う機会があります。

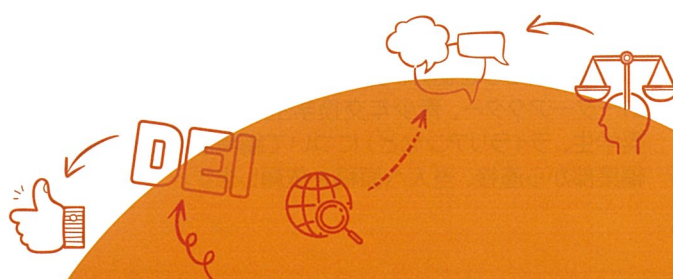
Q: ローターアクトクラブとロータリークラブの会員として各クラブでどのようなことを経験しましたか。

ルーイ: 当初は、スポンサーのロータリークラブ会員の中でためらいがありました。ローターアクトと積極的に関わるべきなのか、または単に財務的なことも含めた支援を提供するべきなのかがよく分かっていなかったのだと思います。ローターアクトクラブとしての私たちのアプローチは、プレゼンテーション、ニュースレター、ソーシャルメディアの投稿、グループチャットなどで、ローターアクトの活動について周知することでした。ロータリークラブが私たちの活動に関心を持ってくれたら、それがきっかけとなります。積極的な参加の機会を求めている新会員もいますので。

Q: ロータリーまたはローターアクトに参加すべき理由は何かだと思いますか。

ルーイ: 大学では、教授から教えるを請います。でも、ローターアクトに入れば、専門職、事業、人生ですでに多くを達成した人たちから直接学ぶことができます。ロータリーのように世代間の学びの機会を提供している組織は多くはありません。

ロータリーのような団体に大人が入会する場合、入会の理由は若者とは少し異なる傾向があります。大人は仕事で忙しいものの、自分の職業や個人的成長につながる活動を求めています。ロータリーでは、異なる職種の人たちに出会うことができるほか、地元地域での奉仕活動や他者への支援といった個人的な夢を叶えることもできます。



クラブでできることを考えよう：
rotary.org/actionplan

Rotary 

📄 ご投稿お待ちしております！

ご投稿は『友』ウェブサイトにある
フォームから受け付けます

コーナー名	説明	文章	写真	備考
ロータリー・アット・ワーク	ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真とともに紹介。活動後1カ月以内にご投稿ください	150～600字程度	集合写真、カメラ目線の撮影は不可。活動の様子が分かる画質の良い写真を添付	活動日を記載のこと
友愛の広場	エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など	1,000字以内	集合写真、カメラ目線の撮影以外が望ましく、あれば添付。なくても可	
私の一冊	会員お薦めの本を紹介。一般的で、入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、投稿者と直接関係する書籍以外）をお願いします	320字以内		原稿と別に書籍名、著者名、出版社、発行年を明記
うちの子	自慢のペットを写真で紹介	100字以内	ペットそのもののアップの写真	ペットの名前を明記
パズルdeロータリー	数独、パズルを毎号順番に掲載。プレゼント応募の締切は、発行月翌月の10日くらい			
内外よろず案内	会員間の趣味の交換、催し物の案内など	200字以内		資料があれば添付
声	『友』誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の10日締切	150字以内		対象記事を明記
ロータリー俳壇・歌壇・柳壇	1人1カ月にはがき1枚3句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入（俳句のみはがきだけで受付）			

- * 投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。また、ひらがな・漢字・用語などは、『友』の表記に統一させていただきます
- * 写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、（一社）ロータリーの友事務所発行の出版物および国際ロータリーのウェブサイト、出版物に掲載する場合があります
- * 掲載は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後6カ月をめどにご判断ください

情報募集中！

●NEW GENERATION

ロータリーのプログラムに参加している（参加経験のある）若い人たちを紹介。推薦対象者（インターアクター、ロータリーアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼します。

●ELEVATE ROTARACT

ロータリーアクトクラブの取り組みを紹介。地域で活躍するロータリーアクトクラブをお知らせください。

●『クラブ週報』『クラブ会報』

「卓話の泉」掲載用として、クラブの『週報』『会報』を継続してご送付ください。メール配信のクラブは、メーリングリストに友編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。印刷版のみで発行のクラブは、ご郵送ください。

送り先・お問い合わせ

投稿フォーム

www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php

ロータリーの友 編集部

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 ☎ 03-3436-6651



ROTARY

お知らせ

新ロータリー衛星クラブ

八戸南さくらエイト (2830・青森県)

2024年6月24日認可 会員数: 11人

スポンサークラブ 八戸南

例会日: 第1・3金 12:30

例会場: マクドナルド八戸城下店

議長: 高畑紀子 幹事: 亀井圭子

東京江戸川なのはな (2580・東京都)

2024年6月25日認可 会員数: 8人

スポンサークラブ 東京江戸川

例会日: 月2回 (第1月、他の月)

12:30

例会場: タワーホール船堀

議長: 横山 巖 幹事: 稲山雄一

東京ピースウィングネクスト

(2750・東京都)

2024年6月24日認可 会員数: 10人

スポンサークラブ 東京ピースウィン

グロータリーEクラブ

例会日: 第2水 第4木 (オンライン)

19:30

例会場: オサカナジャック2階

議長: 上野要平 幹事: 平林 翔

新ロータリークラブ

(既存クラブの合併)

戸田西 (2770・埼玉県)

2024年6月30日承認 会員数: 20人

例会日: 木 12:30

例会場: 戸田市文化会館

会長: 岡部成一 幹事: 駒崎繁夫

*戸田西RCと戸田イブニングRCが合併しました。加盟承認日は、元の戸田西RCの加盟日を保持した1974年5月8日です。

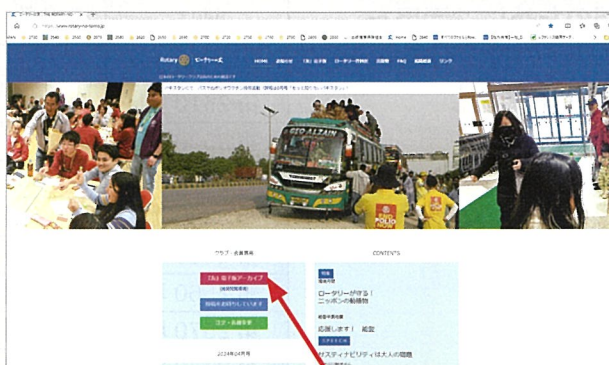
新インターアクトクラブ

宝仙学園 (2580・東京都)

提唱 東京上野RC/東京上野RAC

結成: 2024年6月24日

『友』電子版は毎月1日更新!



ここからログイン

◆ご案内 『友』電子版(アーカイブを含む)閲覧は現在、クラブ個別のID・パスワードが必要となっています。ID・パスワードは、半期ごとにクラブへ郵送する請求書の右下に印字しており、直近の上半期の請求書は、7月1日付で全クラブへお送りしておりますので、よろしくご確認をお願いいたします。

Green Meadow School

(2750・パシフィックベイスン)

提唱RC Saipan

結成: 2024年5月15日

神奈川県立厚木王子高等学校

(2780・神奈川県)

提唱RC 厚木中

結成: 2024年5月27日

高知学芸中学高等学校 (2670・高知県)

提唱RC 高知西

結成: 2024年7月12日

熊本学園大学付属高等学校

(2720・熊本県)

提唱RC 熊本

結成: 2024年6月24日

インターアクトクラブ名称変更

品川翔英中学・高等学校→品川翔英中学校・高等学校 (2750・東京都)

提唱RC 東京高輪

2024年5月31日承認

今治明德高校矢田分校→F C今治高等学校 (2670・愛媛県)

提唱RC 今治

2024年6月29日承認

インターアクトクラブ終結

迫桜高等学校 (2520・宮城県)

提唱RC 若柳

終結: 2023年9月12日

矢板高等学校 (2550・栃木県)

提唱RC 矢板

終結: 2024年6月30日

愛知県立津島東高等学校

(2760・愛知県)

提唱RC 津島

終結: 2024年3月31日

京都聖母学院高等学校 (2650・京都府)

提唱RC 京都伏見

終結: 2024年6月30日

浪速中学校・浪速高等学校

(2660・大阪府)

提唱RC 大阪帝塚山

終結: 2024年6月28日

宇部フロンティア大学付属香川

高等学校 (2710・山口県)

提唱RC 宇部西

終結: 2024年4月30日

*編集部注 パシフィックベイスン (Pacific Basin 太平洋海盆) は、第2750地区の北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ地域のグループ名。

9月はロータリーの友月間

『友』月間のためにご活用を
『ロータリーの友手引書』



『ロータリーの友手引書』を、今年も本誌8月号に同封して、全クラブへ1冊、お送りいたしました。

『手引書』は友のウェブサイト (www.rotary-no-tomo.jp) からダウンロードもできます。ぜひ、9月のロータリーの友月間卓話資料に、 ご活用ください。

◆お知らせ

ロータリークラブ脱会：2024年6月30日付で、別海（2500・北海道）、函館北（2510・北海道）、矢板（2550・栃木県）、朝霞キャロット（2570・埼玉県）、川本（2570・埼玉県）、川口北東（2770・埼玉県）、大宮北（2770・埼玉県）、草加中央（2770・埼玉県）、黒部（2610・富山県）、北条（2670・愛媛県）、宇城（2720・熊本県）。

ロータリー衛星クラブ終結：2024年6月30日付で、和光21 幸魂。

ローターアクトクラブ脱会：2024年6月30日付で、川崎大師（2590・神奈川県／川崎大師RC提唱）、松阪（2630・三重県／松阪東RC提唱）、本巣（2630・岐阜県／本巣RC提唱）、大垣西（2630・岐阜県／大垣西RC提唱）、河内長野（2640・大阪府／河内長野RC提唱）、大阪御堂筋本町（2660・大阪府／大阪御堂筋本町RC提唱）、岡山（2690・岡山県／岡山RC提唱）。

地区別クラブ数・会員数一覧表

（2024年6月末現在）

地区	RC数	会員数	23年6月末 会員数
第2500地区	64	2,205	2,209
第2510地区	68	2,289	2,367
第2520地区	76	1,966	2,006
第2530地区	60	2,123	2,164
第2540地区	40	1,112	1,105
第2550地区	47	1,530	1,596
第2560地区	54	1,988	1,981
第2570地区	47	1,539	1,542
第2770地区	68	2,198	2,284
第2790地区	83	2,641	2,627
第2800地区	49	1,468	1,468
第2820地区	55	1,814	1,858
第2830地区	40	1,089	1,086
第2840地区	45	2,032	2,002
第2580地区	73	2,999	2,874
第2590地区	52	1,817	1,825
第2600地区	52	1,768	1,795
第2610地区	63	2,423	2,443
第2620地区	74	2,783	2,820
第2630地区	74	3,044	3,007
第2750地区	98	4,508	4,499
第2760地区	84	4,491	4,528
第2780地区	67	2,299	2,344
第2640地区	64	1,510	1,546
第2650地区	95	4,120	4,165
第2660地区	77	3,387	3,395
第2670地区	73	2,778	2,898
第2680地区	68	2,458	2,498
第2690地区	65	2,865	2,886
第2700地区	60	3,091	3,017
第2710地区	72	3,078	3,118
第2720地区	73	2,274	2,308
第2730地区	68	2,331	2,303
第2740地区	55	2,043	2,059
34地区合計	2,203	82,061	82,623

日本のロータリー

会員数 81,796人

クラブ数 2,194

（左の表中34地区合計から、第2750地区のPBグループを引いた数です）

ガバナー月信より 第2750

地区クラブ数・会員数は、PBグループ（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）9RC・265人を含みます。P6「日本のロータリー」数は34地区合計からPBグループを引いた数。23年6月末PBグループは9RC・262人。

地区会員数修正 8月号横

組みP57（5月末）表中、2760・4,645人、34地区合計会員数：84,548人、表外とP6「日本のロータリー」最終行会員数84,278人。

ご案内 左記一覧表は、3つの地域順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組みP51奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

10月号主要記事予定

横組み 地域社会の経済発展月間

特集 名士の足跡と、ロータリークラブ。

縦組み 風災の地で生きる 希望ある未来に engagement

訪問介護あかりケアサービス代表・鋸南RC 堀田了誓

この人訪ねて 本名孝至さん（津名RC）

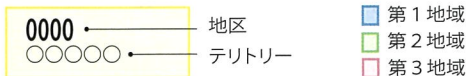
◆お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

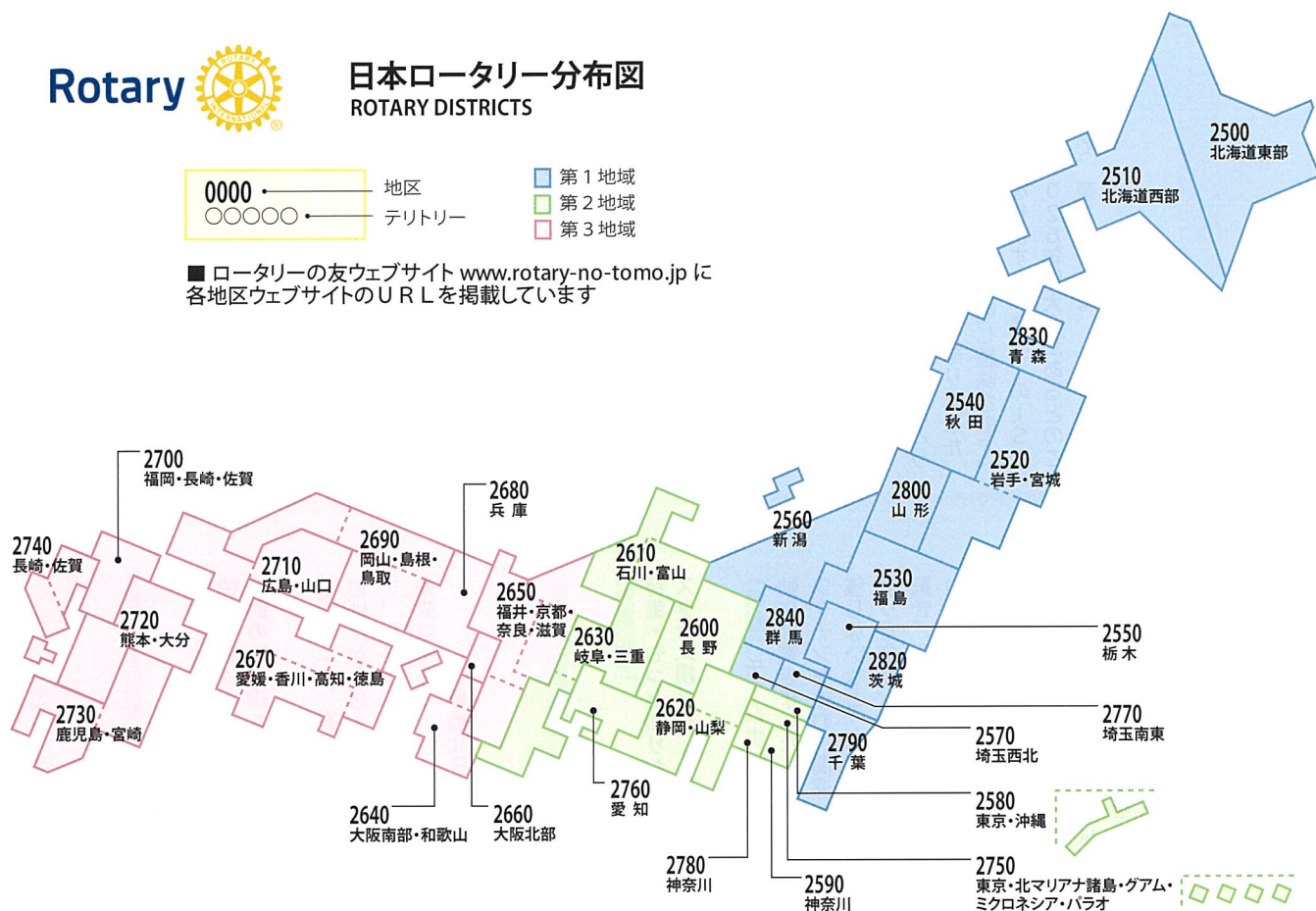
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp



■ ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区ウェブサイトのURLを掲載しています



ロータリーの友委員会

委員長 高野孫左工門 (甲府)
副委員長 中川 基成 (あすか)
R1 理事 水野 功 (東京飛火野)

特別顧問 橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)

顧問 森川 昭正 (仙台宮城野)
篠原 一行 (多治見伊予)
中野 博美 (京都)
中川 雅雄 (東京浅草)
田中 靖 (東京小金井)
相談役 上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
地区代表委員 2500 近藤 真治 (帯広西)
2510 中村 越子 (札幌北)

2520 千田 弥生 (水沢)
2530 佐藤 文雄 (郡山北)
2540 岩佐 信宏 (横手)
2550 鈴木 良男 (鹿沼)
2560 小林 啓之 (長岡)
2570 田島 高久 (深谷)
2570 板橋 智之 (川口東)
2590 海寶 勘一 (千葉西)
2800 木口 護 (白鷹)
2820 小森 勇一 (高萩)
2830 木下 一志 (五所川原)

2840 柳田 秀男 (太田)
2580 相澤 愛 (東京練馬西)
2590 亀ヶ谷純子 (横浜港北)
2600 中澤 弘和 (佐久コスモス)
2610 青島 郁男 (宇奈月)
2620 齋藤 嗣樹 (荻崎)
2630 市川 裕規 (名張中央)
2750 市川 和博 (東京八王子南)
2760 池森 由幸 (名古屋千種)
2780 田中 哲 (鎌倉大船)
2640 北芝 昌明 (和歌山南)

2650 福田 一郎 (奈良)
2660 木村 芳樹 (大阪南)
2670 坂田千代子 (徳島プリンス)
2680 近田 和裕 (神戸西)
2690 飛山 美保 (岡山南)
2700 江藤 航治 (小郡)
2710 鈴木 義治 (岩国)
2720 波佐間英樹 (熊本中央)
2730 深尾 兼好 (鹿児島西)
2740 俣野 正仁 (大村)
編集長 野崎 恭子

月刊 ロータリーの友

第72巻9月号

2024年8月31日印刷
2024年9月1日発行

定価 275 円
(本体価格 250 円 送料別)

振込先
振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591

一般社団法人 ロータリーの友事務所

■社員 水野 功 (東京飛火野)
石川彌八郎 (東京福生)
伊藤 千恵 (東京恵比寿)
佐々木辰郎 (大和田南)
大橋 秀典 (東大阪東)

■理事会
代表理事 高野孫左工門 (甲府)
片岡 信彦 (土浦南)

理事 橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)
久木佐知子 (旭川西)
黒川 伸一 (富山南)
堀川 貴史 (熊本南)
石川彌八郎 (東京福生)
伊藤 千恵 (東京恵比寿)
横山 武志 (東京北)
恵川 一成 (大宮シティ)
羽田 伊助 (東京目黒)

理事 本田 博己 (前橋)
慶野 保夫 (小山中央)
野中 茂 (川崎)
神原 一久 (東京池袋豊島東)
渡辺 剛 (東京みなと)
野崎 恭子

監事 宮嶋 康明 (新千葉)
高野伊久男 (横浜西)

■職員
所長 渡辺 剛 (東京みなと)
編集長 野崎 恭子
編集 稲川やよい
熊谷健太郎
黒野 穰二
山名 愛
飯田亜由香
新見 圭太
管理 富澤 美子
半田 弥生
草野 淑美

印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)
表紙題字 加藤光峰
表紙編集 スタジオジャングル・ジム

●落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部 / 本誌の内容のお問い合わせ)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部 / 購読・注文)
www.rotary-no-tomo.jp



『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに關するご意見などを紹介します。

【対象記事】

表紙「あじさい」

【感想】作者の等々力モニカさんが何を描いたのか不思議でした。表紙の説明を読んで驚きました。まさしくダイバーシティ。視点の違いを認め合うことが、ロータリーンには重要だと改めて感じました。

十日町RC 富井 修司

【対象記事】

特集・広げよう! ロータリー親睦活動の輪 (横P7~13)

【感想】RMFの記事、ありがとうございます。入りがたくりました。言葉が心配ですが、同じ趣味なので、何とかあります! スキーのISFも2026年に大会があるとのこと、楽しみです。

柳井西RC 秋田 健一

【対象記事】

特集・広げよう! ロータリー親睦活動の輪 (横P7~13)

【感想】『友』誌もやつと時代に追いついたかと思える、画期的な内容です。殻を破ってこそ、ロータリーに未来はある!

豊橋北RC 高坂 泰弘

【対象記事】

特集・もつと知りたい 日本とバキスタン (横P14~19)

【感想】チームポリオジャパンの活動には驚きました。宗教上の理由でワクチンを拒む、間違った情報で接種しないなど、耳を疑いました。何より安全な水が確保できないことに驚き、写真の子どもの泥だらけの姿を見て悲しくなりました。それでも屈託のない笑顔でいられるのはなぜだろう、と不思議に思います。ワクチン接種の活動が危険と隣り合わせとは、本当に頭が下がります。とにかく、皆さんが安全に活動できるように心から祈っています。

大垣センチュリーRC 岩田 陽介

【対象記事】

よねやまだより。米山から世界の町へ②リトアニア・クライペダ (横P24~25)

【感想】何だ、これは! 幽霊のモニメントのインパクトに釣られて、記事もしっかり読ませてもらいました。いつか訪れてみたいものです。

大阪大淀RC 高山 孝一

【対象記事】

パズルdeロータリー (横P38)

【感想】いつも面白い景品を選ぶセンス、次年度の景品も楽しみにしています。

宇和島RC 渡部 太輔

【対象記事】

スピーチ。太刀川弘和氏の「ポストコロナのメンタルヘルスと自殺予防」 (縦P4~8)

【感想】小中高生の自殺は話題に取り上げられますが、中高校にも多いとは驚きです。ゲートキーパーになり、メンタルヘルスケアの一助になれば、と感じる次第です。

大阪水都RC 堀本 禎

【対象記事】

友愛の広場。下関中央RC・藤崎崇秀氏の「40年の時を超えて」 (縦P19)

【感想】かつての青少年交換学生が駐日大使として再び来日し、講演を行った記事。私も地区青少年交換委員として活動しているため、大変興味を引かれる記事でした。

東京臨海西RC 飯塚 憲貴

*編集部注 『友』誌24年8月号横組みP28~29に関連記事掲載

【対象記事】

卓話の泉。和田孝文氏の「盲導犬」 (縦P21)

【感想】盲導犬が貧乏であること、初めて知りました。子犬の頃からの訓練の話など、知らないことばかりでした。

福岡イブニングRC 寺田 孝英

●本文150字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトです!

★あるある相談室★

キラッと解決!?

皆さんの「あるある」な相談に、経験豊かなパストガバナーが、真剣に、時にはユーモアを交えてお答えします。

相談

「ワタクシは、長年青少年育成に心血を注いできました。青少年交換でホストファミリーになったのも数えきれなくらい。みんな帰国した後もワタクシに会いに来てくれるほど慕われている。この分野ですごく責任があるから、なかなかワタクシみたいにできる人っていないのよね。それなのに、最近、ワタクシのことを委員長座から引きずり下ろそうとしている人がいるみたい。ワタクシがいなければなんにもできないくせに!」

という「雰囲気」を醸し出している会員がいます。確かに頼りにはなるけれど、そろそろ他の人にもその役目を引き継いでほしいのです。どうしたらよいでしょうか?

(埼玉県・ビールのつまみは落花生・45歳)

佐々木千佳子



十和田RC
(石油、ガス販売)

回答①

やはりどこのクラブにもいらっしやるんですね! この方はホントに青少年育成が好きなのです。確かにホストファミリーは大変なので、積極的に関わってくれるのはありがたいこと。でもクラブとしては何とか次の人に渡してほしい。ではどうしようか? 委員長は3年ルール制にするなどしてはいかがでしょうか。基本、ロータリーの任期は単年度ですよ。このことをお話しし、別の役割をお願いするしかないと思います。ロータリーの良いところを独り占めはいけません。ロータリー歴が長いからこそだと思えますので、邪険にせず、新しい役割をお願いしては? きっと喜んで引き受けてくれるでしょう。なんといってもロータリアンですから。

矢野 宗司



加古川中央RC
(学習塾)

回答②

ロータリーが原則として役職を毎年交代としているのは「みんなに公平か」、すなわち機会の公平さを念頭に置いているからです。ロータリー精神を格調高く表現した「大連宣言」に、「特殊の関係を以て機会を壟断(独り占め)し(中略)、吾人の最も忌む所なり」とあります。また、この特殊な関係について、「党派心(自分の仲間だけに偏する心)はロータリーの如き制度においてはあってはならない(ロータリー職業倫理訓)」という



イラスト: ライトマン

先人の教えは倫理を重んじるロータリーの教えです。特定の人々が役職を続けることによって、確かにメリットもありますが、デメリットの方がはるかに多いことを自覚する必要があります。人事が固定することによって、排除の論理を生み、いたずらに徒党を組むことにつながり、組織がよどみます。過ぎたるは及ばざるがごとし、惜しまれつつもバトンを渡し、次の人材を育てる。それがロータリアンの矜持ではないでしょうか。また、任期の上限を決めるルールを作るのも一つの方法です。

*1928年、大連ロータリークラブの古澤丈作が「ロータリー職業倫理訓」を基に作成したもの
*1915年、国際ロータリー・クラブ連合会年次大会で決議

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

忍者の処世術

甲賀忍者 福島 嵩仁

最近、滋賀県甲賀市で忍術書『間林清陽』が発見されました。こうした文献の中には、1555年12月に起きた、忍者による大和高田城襲撃が三重県伊賀市と現地の双方で記録されているなど、忍者の存在が明記されたものが多くあります。

戦国時代の忍者は、主に奇襲、侵入などを任務としました。黒い衣装を着て、隠れ戦う忍者を陰忍と呼びます。江戸時代に入り戦が減ると、陰忍としての仕事も減り、諜報・謀略などスパイのような対人関係術を駆使する、陽忍が発達します。

姿を現し、知恵と言葉で相手から情報を集める忍術、陽忍の術は現在の対人関係にも応用できるスキルです。例えば、目的地

に入る時には、その地の方言を習得する、奪口という備えをします。同時にその国の風俗や人々の性質、地理なども調べ、現地で案内人となる地元の人とのネットワークを築いておきます。怪しまれない職業と格好を選んで服装もわきまえ、入念な準備をします。

入りづらい場所には、人に案内してもらうノミ・シラミの伝があります。ノミやシラミは人の、特に服の内側にくつくことから、なるべく相手の身内から崩します。相手の家族が喜ぶものを渡して仲良くなることは現代の営業などに転用できます。

人に信用されるには、偉そうな態度は警戒されるため、下手に出ながらも信頼を得ていく「人を破らざるの習い」の術。相手から自慢話をされても「知っているよ」と論破してはいけません。自分は知性があることをなるべく出さずにいると、相手は気分良く話をしてくれるようになります。いざという時は相手の話に合わせて鋭い質問を投げけるなどして信頼を得ていきます。

いざ見つけた時のため、恋文を持っておくといいです。忍者だとばれれば拷問され、殺される場合がありますが、恋文を持っていればそこまでされない可能性がありました。今でいうリスクヘッジの考えです。

(第2650地区・奈良県・大和高田RCにて)

私の一冊

自閉症の僕が跳びはねる理由

茅ヶ崎RC 小澤 雅彦

ロータリーで掲げられるDEI。「多様性、公平さ、インクルージョン」と訳されますが、特にインクルージョンが分かりにくいといわれます。インクルージョンとはその人が社会や集団の中で「受け入れてもらえている」という安心感を得る状態。つまり、多様性や公平性があつて初めてインクルージョンがあるのです。いわば、インクルージョンとは多様性や公平性の結果であり、目的ではないのです。

本書は人との会話が難しい重度の自閉症の著者が13歳の時に、文字盤などを使って対人関係、感覚の違いなどの内面をつづつたもの。国内外で多くの反響を呼びました。

相手を知り、自分を知る。そしてそれぞれが違うということを知り、受け入れる。そのことを教えてくれる本です。全てのロータリー会員にお勧めします。(第2780地区 神奈川県)



東田直樹 著
KADOKAWA (角川文庫)
2016年6月刊

と親交を重ねることで、他の留学生、同級生たちが経験できないことを学ぶ機会もあると思います。一方、私たちロータリアンも、奨学生たちと積極的に関わることで、視野が広がってきます。この奨学事業がクラブ会員一人一人の心に残る活動となるよう、今後も楽しみながら取り組んでいこうと思います。

(第2620地区 静岡県 呉服販売)

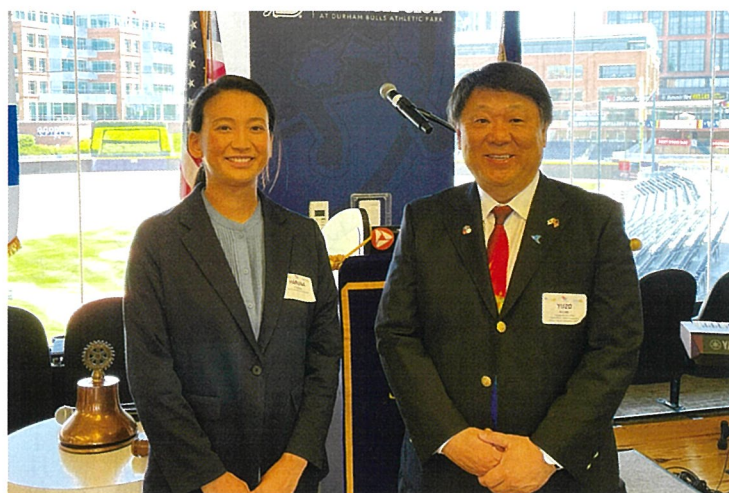
日本人平和フェローを 激励する旅へ

横浜都筑 鬼嶋 雄三

4月7(12)日、第2590地区が推薦したロータリー平和フェローとしてデューク大学で学ぶ深谷春奈さんを激励するため、樋口明ガバナー(当時、以下同)を団長として、団員8人でアメリカ・ノースカロライナ州ダーラムを訪ねました。

深谷さんは今回、日本人として39人目の平和フェローとなりましたが、彼女は元青少年交換学生であり、帰国後はインターアクトクラブに入会。その後、横浜ロータリーアクトクラブに所属するなど、当地区出身の生粋のロータリーファミリーです(『友』24年7月号の「ニュージェネレーション」参照)。

現地では、彼女に大学構内を案内してもらい、ホスト地区主催の夕食会を共にしました。深谷さんは大学院での生活について「さまざまな違う国の人たちと接することで新たな視点が生まれ、日々刺激を受けている」と語っていました。



平和フェローの深谷さん(左)と再会し、記念の1枚をパシャッ

デューク大学は第7710地区内にあり、ホストはダーラムRC。8日の例会を訪問したところ、先方のガバナーからも臨席し、会員から大歓迎を受けました。例会では樋口ガバナーが感謝の言葉を伝え、深谷さんが平和センターでの研究についてスピーチをしてくれました。彼女のカウンセラーを務めるエンド・ピカート夫妻とも話しましたが、彼女を家族の一員として受け入れている様子が伝わってきて、とても安心しました。

私は、2010年にアメリカから国際基督教大学にやって来た平和フェローで、インドでのポリオワクチン投与の写真の撮影者として知られる第10期生のアリソン・クウェッセルさん、

13期生のケイトリン・ドミノーさんのカウンセラーを務めました。深谷さんを推薦するに当たって、その経験が生かされたことは、ロータリアンとしても喜びです。

ダーラム訪問後、一行は当地区のグローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生が学ぶボストンも訪ねました。滞在中には、ケイトリンさんが1月に誕生したばかりの赤ちゃんを見せに来てくれました。われわれが支援した資金はロータリー財団を通じ、世界に羽ばたく多くの人材を育てています。それよりも何よりも、こうした人と人との出会いをつくり、多くの喜びも生んでいます。そんなことが実感できた、素晴らしい旅でした。

(第2590地区 神奈川県 電気設備)

うちの子

ロイ

- ・ミニチュアダックス
- ・オス6歳

一緒に出かけ、一緒に食べて、一緒に寝る。それだけで幸せな日々、と感じさせてくれます。私の元気の源です。



木村 修洋(群馬県・沼田中央RC)



山本眞輔さん。自分の作品をバックに

いえいえ、本業は彫刻家。日本藝術院会員、日本彫刻会常務理事、日展理事でもあります。山本さんはロータリークラブをこよなく愛し、次のように語っています。

「ロータリーで学んだことはたくさんあるが、やはり『奉仕』という言葉に尽きる。ロータリーソング『奉仕の理想』の歌詞にある通り『奉仕の理想に集いし友よ』がロータリーの神髄であると思う。そして、自分にできることといえば、職業を充実させること。これがロータリアンとしての私の一番の奉仕です。良い仕事をす。展覧会を開く。記念碑や記念像を造る。私にしかできないことをする。そうした活動の中で、自分という存在がはつきり認識できる。これが私にとってのロータリー活動です。次世代の芸術家を育て、日本の芸術レベルを高めること。皆さんが生活の中に芸術や文化を取り入れるための橋渡しをすることも、自分の職業だと認識しています。自分の専門領域を充実させる

ことが、ロータリアンとしての充実につながっていきます。『彫刻は美しくなければならぬ』『人生は楽しくなくてはならない』。これが私の人生訓です」

春の叙勲で、旭日中綬章を受章した山本さん。ますますお元気です。

(第2760地区 愛知県 商社)

奨学生から生まれる縁

清水中央 黒田 侑加

わがクラブは米山奨学生を受け入れていました。一人は今年3月で奨学期間を終えたリン・テツ・テツ・トさん。もう一人は今年4月から受け入れているミヤ・パール・ソーさん。2人ともミャンマーの出身で、大学も同じ静岡英和学院大学です。

リンさんは、私のお店（呉服屋）で着物とはかまを借りて卒業式に出ました。着物選びの際には母国の家族と連絡を取り、試着の時もコーディネートを楽しんでいました。当日はヘアメイクもきれいに整い、はかまの着付けが終わると、緊張した面持ちで大学へ。卒業証書を掲げた姿からは、大学生活を謳歌した（おうち）様子が感じられました。現在は社会人となり、クラブのある静岡市清水区で働いています。まだ仕事に慣れず大変そうですが、持ち前の明るさ、前向きさで日々頑張っています。奨学期間を終えても、私たちとのつながりは続いており、困った時には頼ってほしいなど、リンさんの姉のような気



(右から)米山奨学生パールさん、学友のリンさんとラーメン屋さんへ

持ちになっています。

パールさんとリンさんは、気心の知れた仲です。パールさんが奨学生になって間もなく、リンさんとクラブ会員で、駿府城外堀近くにあるラーメン屋さんに行きました。実は、一緒に行った会員が、そこで働くスタッフがミャンマー出身で、しかも元米山奨学生だったという事実を偶然知り、行ってみることにしたのです。同郷の3人、しかも米山奨学生！ とてもうれしいご縁です。3人は母国語で楽しそうに話していました。

母国を離れた3人それぞれが一生懸命に生活している姿は本当にたくましく、ロータリーがそうした若者たちを手助けできる意義を、改めて感じました。米山奨学生たちはロータリアン

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

SLファーストラン号

鶴ヶ島 渡辺 道雄

写真仲間から「3月20日の春分の日に、蒸気機関車（SL）の写真を撮りにいかないか？」と誘われた。聞けば、日の丸を掲げたSLが走るといふ。それはぜひ写真に収めたいと思い、二つ返事で承諾した。

楽しみにしていた日がやって来た。目指すは埼玉を走る秩父鉄道のSLパレオエクスプレス。毎年の運行開始号は「ファーストラン号」として、各種イベントがあり、日の丸や特別なヘッドマークを掲出して走ったりするそうだ。

私は早朝から関越自動車道を車で走り、花園インターを降り、国道140号線を長瀬方面に向かった。早く撮影場所に到着したいと願う気持ちの後押しするように、よく晴れた祝日



汽笛を鳴らして走るファーストラン号

にもかかわらず渋滞もない。私たちは撮影スポットを秩父と皆野の境にある安谷橋のもとに決め、SLの通過予定時刻の1時間ほど前に到着した。

期待に胸を膨らませながら、すぐに撮影の準備を始めた。その撮影場所は穴場だったのか、私たちの他にカメラを構えそうな人はいなかった。誘いを受けてからずっと楽しみにしていたので、はやる胸の内を抑え切れずにいた。

まだかまたかと待ちわびていたころ、遠くから汽笛の音が、山びこに乗って聞こえてきた。だんだんと音が大きく、SLが近づいて来るのが分かる。心臓が高鳴るほどの緊張の中、ついにその姿が見えた。ファーストラン号はライトを点灯し、金色に輝くヘッドマーク、日の丸の旗をはためかせ、雄姿をさらに高めていた。

無我夢中でシャッターを切り続け、気付けばSLの後ろ姿を眺めていた。あつという間の出来事だった。しばらく感動して立ち尽くしていたが、友人から反対方向への列車も通過する

らと移動を促され、われに返った。急いで移動し、再び絶好の撮影スポットを見つけ、シャッターチャンスを待った。

現れたSLは汽笛を鳴らし、煙突から力強く煙を吹き出しながら近づいて来た。緊張はしたが、初回よりは多少落ち着いて、満足のいく撮影ができた。列車通過後、カメラのファインダーをのぞいて作品を確認してみると、まさに思い通りの作品ができていて、喜びに浸った。帰路の車内でも、童心に返って何度も見返しては、満足ではほ笑んでいる自分があった。

（第2570地区 埼玉県 電気工事）

クラブ一番の元気印

愛知友愛 天野 元成

愛知友愛ロータリークラブ（RC）で一番の元気印といえば、山本眞輔さん。御年85歳。クラブは月2回のオンライン例会に加え、月1〜2回は対面式の例会を開いています。山本さんは35年のロータリー歴で、出席率はなんと100%。 「例会は必ず出席すること。出られない場合は必ずメールアップする」といい、入会からずっと有言実行。まさにロータリーの良き伝統を継承する、クラブのレジェンドです。

対面式での例会後は、そのまま懇親会となりますが、山本さんはいつも楽しいトークで場を盛り上げてくれます。とにかく明るくて、話術の達人。本業は俳優？ それともコメンテーター？と言われても不思議ではありませんが、

ダイヤモンドのごとき空港夏休

千葉・富里 寒郡政雄

立ち初めし子の手を離す青芝生

富山南 升田義次

青嵐ドアを押さへてくれし人

岐阜西 眞鍋倭文子

おぼろ夜や真珠の筏眠らせて

埼玉・日高 犬竹功子

駅弁の箸を休めて粽解く

愛知・名古屋錦 中山信義

老夫婦あれあれそれと豆ごはん

大阪うつほ 齊藤隆二

貴船川床杜の靈気をほしいまま

京都伏見 藤井正夏

虹の輪を一機静かにくぐり行く

奈良 田伏 薫

母の日の施設の母を訪ねけり

徳島・阿南 横手鉄格子

永らへて九十二歳端午の湯

東京ワセダ 福地桂之助

窓際の花にひかれて舞う蝶を
網戸を開らき導き入れる

東京板橋 和久井文治

誕生日毎年花のギフトあり
はじめて父の日顔見せ帰る

岐阜加納 鵜飼武彦

都合好くもう年^と齢^だよと言ひ訳し
責任逃れの今日この頃です

大阪天王寺 高見篤志郎

入学の喜び綴る孫よりの
句読点なき報告メール

熊本・八代北 清水明美

空梅雨をしばし忘れて苔玉の
京鹿子にぞ夏の風聴く

新潟東 須田寛子

喜寿すぎて声よく通る塾頭の
読み上げ算を孫がまねする

兵庫・洲本 長井康洋

窓際にしたたる音よ五月雨の
奏でる響きに心安らぐ

熊本中央 波佐間英樹

羞恥心もはや年一内視鏡

北海道・岩内 山崎尚宗

内視鏡、恥ずかしいですね。でも大腸がん早期発見の
ためにはお尻出しましょう。

血を採られ尿も採られて金取られ

高知西 奥村恭明

血液、尿検査があるから今の健康状態が分かるんです。
私のHbA1cは今7.8です。ご飯減らさないで。

免許証返上すべきか睨めっこ

東京武蔵府中 伊藤信吾

都市部以外の皆さんは、車がないと生活できないです
よね。でも、事故を起こす前に返上しましょう。

祝われて苦笑いする誕生日

熊本中央 波佐間英樹

誕生日も、還暦過ぎれば、めでたくもなし。祝ってく
れる人がいるだけ幸せですね！

三叉路に無事故の願い建つ石仏

香川・坂出東 佐藤 功

街中の路地に立つお地藏さん。誰が何のために建てた
のか知りませんが、つい両手を合わせてしまいます。

立ち上り一苦勞する量の間

大阪淀 長谷川孝華子

寄席の楽屋は畳敷きに座布団。だから75過ぎの師匠
ばかりだと「どっこいしょ」の連呼で高座に向かいます。

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇二カ月に葉書で一人三句まで ◇締切 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話番号明記 ◇文字明確に ◇『友』俳壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇二カ月に一人三首まで ◇締切 二〇日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、電話番号明記 メール可 ◇文字明確に ◇『友』歌壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇二カ月に一人三句まで ◇締切 二〇日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、電話番号明記 メール可 ◇文字明確に ◇『友』柳壇係宛

俳壇

長谷川 權選

上々の骨密度なり新茶汲む

東京蒲田 馬場久恵

骨密度を測定したら上々の結果だった。それこそ上々の気分で、新茶を味わっているところだろう。自分だけの密かな喜びがそのまま俳句になった。

梅の木も傘寿となりぬ実は生らず

静岡・浜松南 杉浦 仁

「梅の木も」といつのだから、自分も同じくらいの歳なのだろうか。されどもう実は生ならぬというところがおかしい。原句は「なりて」だが、ここは「なりぬ」としつかり止める。

蚕豆の莢の舟浮く盥かな

愛媛・西条 戸田孝一郎

蚕豆(そごまめ)を剥む(む)いたあとの莢(えい)がいくつも水に浮かんでいる。それを「舟」といったので、盥(う)たらいの中のようなすがすがしさによみがえる。このような言葉の選び方とても大事。

母の日や小柄な母の子沢山

埼玉・日高 長澤光子

少子化が進む日本。子沢山の家庭など滅多に見なくなつたが、かつては十人を超える家も珍しくなかった。あの小さな体でよく産んでくれたという母への感謝の一句だろう。

麦笛や一児の父となりて吹く

愛知・稲沢 橋本歩々

こちらは最初の子どもが生まれたばかりの若いお父さん。父となった喜びが句からあふれるといつては、含羞(くしう)かんしゅ(く)を含んで句にしているところがいじらしい。

歌壇

馬場あき子選

雨の日は日がな一日読書する
隣に猫のいるのもうれし

秋田・能代白神 平賀優子

雨が降る。「日がな一日」という三・四の調子にリズムがあり雨も楽しそう。しかし少しダルな気分もまじる。そうした場面に下句に猫が出てくるところがとても生きている。とてもよく馴染んだ猫、御主人のそばに半眠りしながら居るだけで双方満足している雰囲気がよく出ている。

その昔孫と遊びし汽車公園

ゾウの遊具も年老いにけり

宮城・石巻西 熊谷義弥

よくある体験かもしれないが、この場面もしみじみ寂しい。「その昔」というほどの歳月の彼方になった孫との時間、その日のままのかたちで古びよごれてしまったゾウの遊具、そして自らの老の自覚。もう戻ることのない記憶の中の時間がそつとほほえむ。汽車公園というユニークな遊び場に、子供の声が賑やかだった日のことがしのばれる。

卒寿過ぎて今だに現役祭の笛
伝統守る老人パワー

茨城・日立 清水朋彦

柳壇

三遊亭白鳥選

今月はなぜか健康診断の川柳がたくさんありました。私も2カ月に1度、糖尿病の検診で病院で診てもらっています。なので、とても親近感が湧きました。

人間は不思議なもので、ぽつくりと死にたいと思っても、それまでは元気でいたいと思うものです。ピンピンコロリ、今日も川柳ひねって頭の体操。

天

振る舞いも父に似てくる三回忌

福岡イブニング 甲斐総治郎

私は親父と仲が悪く、新潟の実家の自転車店を継がず「落語家になる」と言ったら勘当されました。そんな親父も96歳で元気です。

そして、鏡の中の私がどんどん親父に似てきます。複雑な心境です。

地

けんか負け爺のあぐらにもぐりこむ

青森・八戸 道尻誠助

ああ、ほほ笑ましい。兄弟げんかかな？ 頼りになるおじいちゃんですね。優しく安心するあぐら。「もぐりこむ」の言葉が素晴らしい。

人

あなた誰ヒント探して長喋り

愛知・名古屋錦 石井弘子

これも、年取るアルアルです。先日も駅でちよびひげのおじいさんに話しかけられ、「それじゃあ、お先に」と言っただけでしたが、一体どなた？ ヒントは黒い、大きなかばん……。手品(奇術)のアサダ二世先生でした。

にっぽんふうど



文・久保田英男

バブルのピークと 怪しげな芋煮会



「芋煮会に来ない?」と初めて誘われたのは、社会に出てすぐの20代の頃でした。僕はこう答えました。「何それ?」

近年はメディアで取り上げられたり、大がかりなイベントが開催されたりとその存在は全国区となっていますが、当時、芋煮会はまだマイナー。怪しい勧誘かと勘繰ってしまい、誘いを断ってしまいました。無知は罪、というか失礼な男ですよね。

それでも再度、「芋煮会」の「勧誘」を受けたので参加してみると、これが楽しい楽しい。空気が少しキリリとし始めた秋空の下、広々とした場所に集まって、大勢で大きな鍋を囲みます。ビール片手にこんなにやう、根菜類、豚肉、主役の里芋がゴロっと入ったみそ仕立ての芋煮を、みんなでアチアチと言いつつ頬張りました。初対面でも、同じ鍋を食べたらもう仲間。後はひたすら笑って食べる。「同じ釜の飯を食う」ってこのことだなあ、と思いました。

その頃はバブル経済のピーク。拝金主義が横行し、日本の価値観や美意識が一夜にして変わってしまったと感じていた僕は、その集まりにどれだけ勇気づけられたか。映画の中の人物だけど、フーテンの寅さんがそこにいれば「鍋囲んで、笑っていられる銭があれば幸せなんじゃないかい。欲をかいちゃあおしまいよ」なんて言ったかもしれません。

豆に彩られた 南東北の食

芋煮の発祥は古く、1600年代半ばとも。山形県を流れる最上川舟運の終点で、荷受人が現れるまでの退屈しのぎを兼ねたうたげて食べていたことがルーツとされています。今では新年会や忘年会と並ぶ行事として、県民のだんらんにかかせないイベントになりました。ちなみに僕が芋煮会でいただいたのは、庄内風芋煮だったかと。

その庄内の特産といえば「だだちゃ豆」。大豆、分かりやすくいえば、ビールのおつまみの枝豆の一種です。「だだちゃ」とは庄内の方言でお父さんという意味。やや小粒でさやの毛は茶色、甘みと独特の濃厚な風味があり、香りも強いのが特徴です。

豆といえば、仙台藩・伊達政宗公。食通な上にかんりの豆好きだったとか。そう聞いて、「ずんだ餅」を連想される方も多いかもしれませんが。実際、「ずんだ餅」という名前の由来の一つには、政宗公が枝豆をつぶす際に使った陣太刀がなまって「ずんだ」になったという説もあるくらいです。ちなみに現在、われわれが食べている甘いずんだ餡が登場したのは、砂糖が出回るようになった幕末からだそう。

また、政宗公が仙台城を築いた時、城内の一角に「御塩噌倉」と称される、日本最初の大規模なみそ製造工場を造りました。これは、みそを城内の食糧とすることが目的でしたが、後に江戸の下屋敷でも仙台城と

同じ製法で製造を開始。その余剰分を問屋に卸すようになり、「仙台味噌」は全国的に有名になったそうです。

さらに政宗公は、豆を炊き込んだ豆めしが好物で、豆腐などの大豆製品を好んで食しました。ある合戦の際に、家臣へ「一日も早く天下を太平にして、豆めし、鰯の塩焼き、それに芋の子汁を食べる日々を過ごしたいものだ」と語ったようです。こうした食にまつわるエピソードはいいですね。僕も芋煮会で政宗公ばりに「出来立ての熱いものはみんな分けないさい、自分は最後でいい」と言えばよかったなあ（だって、猫舌なんだから）。



イラスト：ライトマン

久保田英男

鎌倉RC会員（職業分類…菓子製造販売）。芋は芋でも、自然薯は地面を深く掘って収穫します。大物になるとその深さは2メートルほどに。なので、その後、穴を埋め戻さないと大変迷惑です。僕はそこに落ちて本気で死にかけました。マナーだぞ!!



中学からの仲間。(左から) 高橋和平さん、明石良子さん、戸嶋悦男さん、児玉則夫さん

市立大岬小学校の「日本最北端の小学校」という看板に感動し、そのまま立ち寄り、すぐに校長先生と打ち解けたという。

「それから子どもたちに本を送り続けていたら、学校が『中村辰雄文庫』を作ってくれたんです」

12年から19年まで、卒業式前に稚内を訪ね、子どもたちに自分の経験などを話してきた。

11年の東日本大震災で被災した岩手県の大槌小学校も長く支援した。

「大槌小学校の新1年生になるはずだったわが子を津波で奪われたお父さんの記事を読んでね、居ても立ってもいられず、車に駄菓子と国語辞典50冊ほどを積んで学校を訪ねたのが始まりです」

その後は、相模原南RC全体で支援に乗り出す。

コピー機や机と椅子130セット、高学年生徒のユニホーム90着、さらには大型バスをチャーターして、子どもたちに遠足をプレゼントした。

「高校生になるとしんどいけれど、小中学生の仲間になるのは苦ではないんです」

しかし話は美談では終わらない。ここで高橋さんが言う。

「ただ、地元の小中



大槌小学校の児童たちとも仲間になる

学校には長く支援をしてこなかった。なんでなのかと聞くと、『俺の松を切られた』とか言うんだ」

中村さんには少年時代の大変な思い出があったのである。

「家の裏に寺があつて、そこに見事な五葉松があつてね、子ども5、6人で手を広げて開めない。その木の下にゴザを敷いて、ばあちゃんがそばや枝豆、カタクリをこさえていた。ところが、いつの間にかその松が切られて、切り株さえない。ショックで故郷を失った気がした」

阿仁なんか支援するものと宣言したことさえあったが、だんだん気持ちに変化が生じたという。

「おまえの家の松でもない。他人が自分の松を切ったところで仕方ないだろう」と、高橋さんに言われたこともあり、21年から地元の学校にも本を送る活動

を始めている。

「どんな本を贈ればいいか、高橋に教えてもらって、まず140冊ほど贈りました。生徒たちとも話をする機会があり、何か質問ありますかと聞くと、生徒たち36人がほぼ全員、手を挙げてくれた。あいう子どもたちがいれば、日本も阿仁も大丈夫だよ」

こうして宴会もお開きとなる。

中村さんの願いを聞き、それまで黙って聞いていた戸嶋さんが立ち上がった。

「蝶よナーヨー 花よナーヨー 育てた娘 今日日はナーヨー 他人のヨー オヤ手に渡すナーエー」

戸嶋さんのおはこ「秋田長持唄」が店内に響いた。これまで結婚式の司会を123組も担当し、親たちを泣かせてきたという。中村さんの故郷、無念の松はともかく、なかなか豊潤なのである。

故郷を語り続けるが秋田名物は食べない人

最後に相模原で中村さんに会った。

中村さんのロータリークラブ入会は08年。16—17年度の会長を務めたが、最近では韓国の済州島との青少年交流事業にずいぶん力を入れたという。

話を聞いていると、22—23年度の会長で、弁護士の徳久京子さんが参加してくれた。

「辰雄さんが震災の時にすごい頑張っ

て活動したのを私たちはよく見ていますからね。辰雄さんが済州島との交流事業を始めたいと言ったら、『辰雄が言っているから仕方ないわ』という雰囲気になります。行政との交渉とかいろいろあり、急に言い出すのは困るけれど、みんなを納得させる力は確かにあります」

17—18年度のガバナーを務めた大谷新一郎さんも言う。

「彼の行動は1回で終わらない。必ず継続する。大槌小学校も全部で15回も行つたと聞いています。家庭もあつて会社もあつて、なかなかできることじゃないし、信念があるんでしょうね」

大谷さんは付き合いが長いため、阿仁訛りもよく理解し、こちらが聞き取れないときは「通訳」までしてくれる。

「秋田県人なのに、秋田名物を食わないのも面白いね。いぶりがつことかきりたんぼはみんな私にくれる。まあ、常に見返りを求めなくて、子どもたちが大好きで、つまりアンパンマンですよ」

福々しい中村さんにぴったりの言葉だった。

中村辰雄（なかむらたつお）秋田県旧阿仁町（現北秋田市）生まれ。1965年に秋田県立鷹巣農林高校卒業、「日本住宅パネル工業協同組合」入社、70年の大阪万博、85年のつくば科学万博などで活躍。93年に（株）日本テラビンの取締役営業本部長を経て退社、95年に相模原市に「ナカコーポレーション（株）」設立、代表取締役。2008年に相模原南RCに入会、16—17年度会長。



は使わない。『授かる』と言います。山の神様の贈り物だね。だから昔はクマに遭遇する人は運がいい人だと言ったものだけど、今は運の悪い人がクマに遭う」ワラビやウド、タケノコは人間も好きだが、クマの好物でもある。

「昔のクマは人間を恐れていたけど、今は山菜を探りに来た人間の弁当をクマが食べる時代だからね。昔だと見向きもしなかった渋柿まで食べてます」

話が一段落すると、鈴木さんは用意した入れ物を開けて笑顔で言った。

「クマ肉、食べますか」

中村さんの顔が、一瞬こわばったように見えた。そういえば、空港から阿仁までの車中で中村さんは言っていた。

「クマの肉は硬いからな、おれはやっぱり牛肉だな」

鈴木さんが勧めてくれたのはクマ肉のスペアリブである。

「骨に近いところがうまいから食べてください。去年の秋に授かって、塩とみそで味付けしてます。孫が好きなんだわ」

鈴木さんの調理が見事なため、臭みが全く無くて軟らかい。中村さんも安心してたようで、声が大きくなっていった。

「これはうまい。なんだか、酒が飲みたくなってきたね」

鈴木さんがほほ笑んで応えた。

「おお、そうかい。お代わりはいくらでもあるからどんどん食べてください」

中村さん、再び顔がこわばっていた。

祖母と遊んだ五葉松の記憶 「秋田長持唄」が心にしみる

夜は阿仁の寿司屋「万来」で、中村さんの友人2人と会った。戸嶋悦男さんは町の役場に長く勤め、今は小中高など陸上競技の審判としても活躍している。

「戸嶋はずっと同窓会の幹事をして、よく声をかけてくれ、それで俺も参加するようになったんだ」

と、中村さんがしみじみ言う。

もう一人、高橋和平さんは地元の小中学校の校長先生を務めた。日本のノルディック複合競技のエースで、ワールドカップで優勝2回の高橋大斗さんの父親で、ご自身も法政大学時代、複合選手として活躍した。中村さんとは幼なじみだ。

「そんなに仲が良いわけでもない。ただ、彼が還暦少し前から同窓会に来るようになり、気前よくおごってくれるので付き合ってます（笑）。辰雄はおごつても上から目線にならないところがエライ」

夜が更け、中村さんの最近の活動が話題となった。高橋さんが言う。

「辰雄は長年、北海道のさいはての小学校に本を送ったり、津波で被害を受けた岩手の小学校を支援したり、よく頑張っているんだわ」

中村さんは作家司馬遼太郎の大ファン。『街道をゆく―オホーツク街道』を読んで、2009年稚内に行った。稚内



相模原南ロータリークラブ（RC）の中村辰雄さんは秋田県の旧阿仁町（現・北秋田市）の出身である。東京に出てきて60年ほどたつが、ほんわかしだ「阿仁訛り」がしっかり残っている。

「失敬だな。俺は標準語だぞ（笑）」

地元の農林高校を卒業、進路に迷っていると、高校の先生が勧めてくれた。

「兄のつくった会社が東京にあるんだ。

中村君、良ければ行ってみないか」

夜行の急行「津軽」で上京した。

1965（昭和40）年だから、映画「ALWAYS 三丁目の夕日」が描いた時代に近い。今も昔も東京は地方出身者を氣後れさせる。

「おやじから1万円もらい、布団袋担いで上野に着いた。詰め襟で丸刈りだったね。背広もないから、駒込にあった本社に通うのが氣恥ずかしくて、最初は埼玉県入間市の倉庫勤務を希望しました」そこは全国の公営住宅の内装材を一手

に引き受けていた会社で、高度経済成長の波に乗り、業績は拡大の一途だった。

「給料をもらってすぐに池袋でブレザーを買った。若いからだんだん倉庫で働くのが物足りなくなり、いろいろ企画して本社にアピールしたんです」

次第に頭角を現し、70年の「大阪万博」では、万博協会の事務所などの現場監督を担当するようになった。

「銀行や官公庁関係の建物を手掛けて、大阪府警や兵庫県警もお得意先。県警の同姓同名の人と親しくなり、『北新地で困ったときは俺の名刺を見せろ』って。結局、出すことは無かったけど（笑）」

東京に戻り、85年の「つくば科学万博」では、協会関係の建物を55棟も手掛けもした。39歳で営業職となったのが転機となったようだ。

「転職した会社で、東京の営業本部長を任せられました。接待の毎日で、午前3時に赤坂の一ツ木通りにタクシーを呼ぶ生活が続く、ガンマGTPが急上昇したこともある。これでは身が持たないと、自分の会社を始めました」

95年に神奈川県相模原市に「ナカコーポレーション（株）」を設立している。「建築は無を有にする仕事。重機も入らない山中に家を建てるとか、他社がなかなかできない物件が好きですね」

一戸建て建設と中高層マンションの外装を担当する会社は堅調で、息子2人も会社幹部として活躍している。

厳しい建築業界を生き抜いてきた中村さんではある。しかし、今回のテーマは実業家としての中村さんではないような気がする。その気持ち察してか、中村さんが誘ってくれた。

「阿仁に行きませんか」

地元の中学校に3年前から本を寄贈していて、6月初めに生徒たちと話をする機会があるという。

「阿仁はマタギの里なんです」急に阿仁を訪ねたくなった。

「クマ出没注意」の故郷 マタギ名人のおもてなし

秋田の大館能代空港に着くと、中村さんが手を振って出迎えてくれた。東京でも元氣だが、地元でさらにパワーアップしているようだ。

旧阿仁町は秋田県のほぼ中心に位置している。江戸期から銀や銅を産出する阿仁鉱山で栄え、明治後も古河財閥の経営下で発展した。3万人近くの人が住んでいた時代もあり、中村さんのお父さんも生涯鉱山で働いていた。その鉱山も78年に閉山し、現在の阿仁地区の人口は2187人（2024年6月末）である。アユ釣りの聖地「阿仁川」が流れ、鉄道ファンに人気の秋田内陸縦貫鉄道の阿仁マタギ駅もある。

広大な面積のほとんどは森林で覆われ



（右）阿仁のマタギの第一人者、鈴木英雄さん（下）高山植物にアユ・山菜、冬は樹氷も見られる阿仁の豊かな自然。この写真は中村さん撮影



ていて、車で走っていると山また山が迫ってくる。道中、「くまくま園」という看板があった。ツキノワグマやヒグマを観察できる観光施設である。

「クマ出没注意」

という看板もある。公然と闊歩するクマも増えているということだろう。

「マタギの名人に会いましょう」

阿仁のマタギの第一人者、鈴木英雄さんの話を聞くことになった。祖父の辰五郎さんが伝説的な名人で、小さい時から一緒に山に入ってきたという。

「私たちはクマを駆除するという言葉

この人
訪ねて **中村辰雄** さん

相模原南ロータリークラブ

マタギの里「阿仁」の心を忘れず
各地の学校支援に忙しいアンパンマン



オーケストラを呼んで、まず演奏してもらったそうです。その後「どうぞ自由に、楽器を触ってください」と子どもたちに楽器を触ってもらったら、「音楽を感じると言ったと。音楽の中に込められた、いろいろなアイデアが見えてくる、と言うのです。それを聞いたプロの音楽家の皆さんは、もう感動されたと。

「いやあ、今まで私たちが演奏してきたのは何のためだったんだろう、と思いましたよ。音楽は聞くためのもの、思い込んでいました。音楽は感じるものなんです。以来、オーケストラの皆さんも音楽家として、大きく変わられたそうです。

音楽とインクルージョン

今のベネズエラでは、エル・システマは、実に多面的に展開されています。「ホワイトハンドコーラス」のように、障害のある方が参加するプログラムの他に、刑務所内における更生プログラムとして実施されたり、病院を場とする、終末期医療の段階にある子どもたちのプログラムもあります。残された時間はあと2カ月、3カ月、1年しかなくても、音楽に関わる。許可を頂き、ベネズエラで一番有名な劇場でヴァイオリンを弾いて、亡くなった子もいました。

今の言葉で言えば、まさにインクルー

ジョン。貧困など劣悪な環境にある子どもたち、耳が聞こえない、目が見えない子どもたち、知的障害などがある子どもたちが音楽の場を得ることにより、その場で頑張れる。楽しく過ごせる。生まれ変わる。刑務所のオーケストラも同じことです。

音楽を通し、社会的インクルージョンを目指すエル・システマのモットーは「トカール イ ルチャール (TOCAR Y Luchar)」。「奏でて闘う」です。「闘う」と聞くと、ええつとなりそうですが、誰かと闘うの意味ではありません。自分の持つ、さまざまな困難から目を背けず、困難に向き合って闘うという意味です。

ですから、多くの子どもたちはエル・システマの中で救われた、と言います。人は、どうしても現実の問題に直面すると、逃避したり、他人のせいにしてしまう。大人だつてそうです。自分一人ならくじけてしまったかもしれないけれど、エル・システマの皆と一緒に困難に立ち向かって、新しい自分に出会うことができた、と言います。

残念ながら、アブレウ博士は亡くなりましたが、生前よく言っておられました。「貧困の問題とは、住む場所、着るもの、食べるものがない、というだけの問題ではない。社会に自分の居場所がある、社会から認められる、社会から『あなたは大事な人だ』と思われ、必要とされていることが、何よりも大事なのだ」

エル・システマに参加している子どもたちは、居場所が見つかって、自分の気持ちも落ち着いてくると、家族からも認められるようになります。家族が誇りを持ってその子を自慢し、地域コミュニティでエル・システマのことを話します。「うちの子変わった」「うちもよ」と話題になることで、コミュニティも変わっていくのです。当事者の子どもだけではなく、家族の変化、地域の変化が国全体へ波及していきます。

インクルージョンは、邦訳が難しいと聞きます。包摂、包括、と訳されるようです。その子どもが社会と一体性を感じて、多様性の中で自分は認められていると実感できるように、多様な人たちの社会の中で、多様な人たちが認めてくれて、自分の場所があるということ、対等に生きる場があるということは、本当に大事ですよ。

このように、エル・システマが成長するにつれ、さまざまな障害がある人たちに適したプログラムを作ることになり、各分野に専門の指導者が必要となつていきます。現実問題として、財政的には負担もあることは否めません。でも、こんなに斬新な、音楽を通しての効果的な教育方法、今後は日本からも、世界に向けて紹介していただければと思います。帯広でも、音楽を通しての交流ができました。このような絆をたくさん、皆さんと築いていきたいと思います。

ベネズエラは、最初にご紹介したように地理的には間違いなく、遠い遠い国です。日本から行くなら、必ずどこかで乗り換えをしなければなりません。26、27時間ぐらいいかかります。地球の反対側に位置する国です。

でも、国と国の関係は地理的な位置取りではないと思うのです。やはり知識。お互い、どのくらい相手の国のことを知っているかによって、「心で近くに感じる」と思うのです。

今日、私のお話を耳を傾けてくださって、エル・システマのことを知っていただきました。皆さまが「心で」ベネズエラに近づくことを祈っております。

(ホスト 帯広北RC)

SPEECH



ベネズエラ・ボリバル共和国特命全権大使
セイコウ・イシカワ

1972年 ベネズエラ生まれ。日系二世。
98年 シモン・ボリバル大学卒業。2001年 駐日ベネズエラ大使館経済・商務担当官。
2005年 駐日ベネズエラ大使。現在に至る。

て握ってみて」。6歳、7歳の子が5年、6年たつと、自然に先生になっていく。12歳にもなれば指導者になる。

先生が足りないことは、正規の音楽教育としては確かにマイナス要因です。しかし、子どもたちの音楽への思いが、教え合うという連鎖を生み、自ら考える力を鍛え、100万人規模の子どものエル・システマが育っているのかもしれない。

良き市民を育てるこのプログラムからは、スターを輩出していると申しましたが、例えば指揮者グスターボ・ドウダメル（1981〜）などもその1人。100年に一度の天才といわれていますよね。ちょうど、京都に來ているそうです。彼と同じ世代の指揮者のディエゴ・マテウス（1984〜）は、2023年から、小澤征爾音楽塾の首席指揮者に任命されました。期待しています。

個人ではなく、団体としての評価も得ています。2013年、あのザルツブルク音楽祭の主催者は、エル・システマ育ちの子どもたちを招請しました。何とベネズエラから1200人、6歳から20代前半のメンバーは、イギリスのサイモン・ラトル（1955〜）さんの指揮で演奏しました。ラトルさんは当時、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団の指揮者でした。世界で1番有名と言っても過言ではないクラシック音楽のフェスティバルで、こんな有名な指揮者が、ベネズエ

ラの青少年で構成されたオーケストラを振ったということです。弾いた曲はグスタフ・マーラーの交響曲第一番です。こんな難しい曲を、幼い子が堂々と奏するので、聴衆は皆、圧倒されたそうです。

障害のある子にも音楽を

経済的な障害ではなく、身体的な障害などを理由に、音楽を習いたくても習えない子どもたちがいます。

例えば、「耳の聞こえない子ども」は、今までなら最初から、音楽教育にアクセスできていなかったわけです。自分の周りに、障害のある人って何人いると思われませんか？ 今の世界、5人に1人は障害がある人、といわれています。けれども見えていません。気付かれていません。もっと見える化しなきゃいけない。

SPEECH

そこで1995年、ベネズエラで「ホワイトハンドコーラス（Coro de Manos Blancas）」が誕生しました。見える化の好例です。耳が聞こえない、目が見えない、知的障害などがある子どもたち、そして障害のない子どもたちが共に集います。歌える子は声で歌い、耳が聞こえない子どもたちは、手話で音楽をパフォーマンスします。その際、白い手袋をはめるので、ホワイトハンドコーラスと名付けられました。

ホワイトハンドコーラスのメンバーは、一つの舞台に多様な子どもたちが集い、一緒に練習するので、お互いの世界を知り合います。ここが大事です。メンバーとしてお互い、困難なことも一緒に助け合おう、という気持ちが生まれます。この子たちも2013年のザルツブルク音楽祭に出演し、聴衆の一人・名歌手のブラシド・ドミンゴ（1941〜）さんは「これはもう、天国に行ったような気持ちだよ」と感動していました。

一方、日本では2012年、（一社）エル・システマジャパンが創設され、エル・システマの活動がスタートしています。ベルリンフィルのメンバーたちが、東日本大震災後、東北地方を回ったのがきっかけだったそうです。多くの親を、友達を亡くした子どもたちのため「音楽を通して何ができるか」と考えた時、メンバーから「ぜひここで、エル・システマを始めるべきだ」という提言があった

そうです。

震災に遭った子どもたちが、音楽に向き合うことで自信や尊厳を取り戻し、自分の人生を切り開いていく力を育てることを目的に、まず福島県相馬市、次に岩手県大槌町で、エル・システマが始まりました。現在では、長野県駒ヶ根市、東京都、大阪府豊中市、京都府舞鶴市の計6拠点へ、活動が広がっています。

ホワイトハンドコーラスも、2017年、日本に導入されました。現在は（一社）エルシステマ・コネク트가携わり、声で歌う声隊と、手で歌うサイン隊が音楽を奏でるスタイルを取ります。演奏団の名はホワイトハンドコーラスNIPPON。舞台からは、メンバーが自信にあふれていることが伝わってきます。

なぜ、こんなにも自信に満ちているのか？ それは、音楽を教える時、指導者側が一方的に指導していないから。歌詞もメンバーが考えています。どういう手話を使ったら、アイデアが一番伝わりやすいかな？と自ら考え、歌詞を作っているのです。ですから「自ら考える力」がとてつもない。考える力が発達すると、人は自信を持ちます。参加者も「音楽で人生が変わった」とよく言いますよ。

よく聞かれるのが「でも、みんな耳が聞こえないのに、どうやって音楽を楽しんでいるの？」ということだそうですね。確かに、あまりに素朴な質問です。この活動を日本で始めて間もない頃、

結果として、子どもの時から高い演奏技術を学ぶので、多くの一流音楽家が輩出されてきました。また、一対一の指導ではなく皆で音楽を学ぶので、目的とする規律や協調性、自己表現力など、優れた社会性が身に付きます。

さらに、音のあふれる楽しい環境で育つことが、子どもたちを犯罪や暴力から守ることに成功しました。学業面も含めてポジティブな影響が高いことも着目されています。こうした面はユネスコ、米州開発銀行などの外部機関からも評価され、エル・システマは今や、世界70以上の国・地域で展開されています。

このように、犯罪や非行への抑止力としても、エル・システマが非常に効果的な役割を果たしてきたことは間違いないく、健全な市民を育成する社会政策の一環として、ますます推進されるようになりまし。

エル・システマがこんなに成長した背景には、昔から、クラシック音楽が親しまれてきたお国柄もあります。なにしろ、ラテンアメリカ世界の中で初めて、プロフェッショナル・オーケストラをつくった国ですから。

ただ、アブレウ博士が「もはやプロの人だけ、エリートの人だけがクラシック音楽を楽しむべき時代ではない。国民みんなが楽しむべきだ」と考えたように、クラシック音楽を楽しんできたのは限られた層だけでした。多くの国民がクラ



2017年にはホワイトハンドコーラスが日本でも誕生 写真 © Mariko Tagashira

シックを楽しめるようになるには、幼い頃からの教育が必要です。つまり、多くの子どもたちが音楽教育に容易に、アクセスできなければならない。ということで、博士は国がお金を出し、全て無償で、音楽教育を行うシステムを立ち上げたのでした。

こうして、皆で一緒に演奏することを学ぶエル・システマが動き出したわけです。繰り返しになりますが、全て、ベネズエラ国家が面倒を見ているので、楽器も授業料も無償。

子どもたちは「皆と一緒に演奏してい

る時が何より楽しい」と言います。どうしても皆で練習したい、という気持ちがある子どもも本当に大きいので、チームワーク、規律など、社会で大事なことは、実に自然に、皆で学ぶわけです。

先に申しましたが、エル・システマ総数で見れば、100万人規模の子どもたちが音楽と一緒に生きています。教室数も1700以上になっているのですが、正直、先生の数が追い付いていません。ですから、そこが課題の一つになっているのですが、子ども同士で教え合うことで乗り越えています。

エル・システマの基盤楽器は、先に触れましたようにヴァイオリンです。子どもたちは、ヴァイオリンという楽器に触れることから、音楽の世界に入ります。

音楽教育をヴァイオリンから始める際、子ども自身がパーパーヴァイオリンを作り、自分で発声しながら弾く練習をします。上達していくと、何の楽器がいかなく、となって担当楽器を選びます。

想像してみてください。新しい子どもがクラスに入ってくると、できる子どもの横に新入生が付きま。



ベネズエラの音楽の奇跡 エル・システマは1975年に生まれた 写真 ベネズエラ・ボリバル共和国大使館

した。1時間で3600回発生した記録もあるとか。雷からはオゾンが発生するそう、環境にも役立つしていると、ちょっと自慢として紹介しています。1999年、新憲法発効により、国名がベネズエラ・ボリバル共和国となりました。

音楽の奇跡

ベネズエラのイメージが形作られましたでしょうか？ そんなベネズエラ特命全権大使の私が、この北海道の帯広でなぜ、話をしているのか？ きっかけは、帯広市の市民オペラの会がコンサートを企画し、ベネズエラから有名なテノール歌手を呼ぼうとなったことでした。2022年11月、テノール歌手のロペール・ヒロンさんがコンサートで歌い、私も一緒に折、帯広の皆さまとのご縁が生まれました。

音楽が取り持つご縁ならば、大使としてぜひ、ベネズエラ生まれの「エル・システマ (El Sistema)」を紹介したいと思いました。クラシック音楽界では、知る人ぞ知る、とても評価の高い、音楽教育プログラムです。「ベネズエラの音楽の奇跡」として有名ですし、後でお話しますが、東日本大震災の後、日本でも展開されているので、既にご存じの方がいらっしゃるかもしれません。

エル・システマは1975年、経済学

者で音楽家のホセ・アントニオ・アブレウ (1939~2018) 博士により「音楽の社会活動」として、産声を上げました。残念ながら、エル・システマが誕生した頃、ベネズエラの社会はなかなか安定せず、貧困と犯罪が青少年に及ぼす実害が、深刻な問題となっていました。

無料で、安心して過ごせる居場所を子どもたちへ提供し、暴力からその身を守り、集団で音楽を実践することで規律、協調性、自己肯定感などを身に付けられる環境を提供したい。ですから、いわゆる文化的な情操教育というより、国家が音楽教育を施し、青少年を社会的に育成しようという、社会福祉色のあるプログラムです。

その音楽教育の方法論は、日本と深いご縁があります。79年に招聘された日本人ヴァイオリニスト・小林武史さんは、師である鈴木鎮一 (1898~1998) さんの確立したスズキ・メソッドに基づき、指導しました。エル・システマの音楽教育の基盤は、ヴァイオリンなのです。

始まりは小さなガレージで、少人数の学生が教わるグループ活動だったとか。やがて国家的な組織へと成長し、現在100万人規模の子どもが参加しています。名だたるユース・オーケストラや合唱団に分かれ活動しています。とにかく家庭の経済状況に関係なく皆、参加者は無償です。

SPEECH

2023年3月18日 国際ロータリー 第2500地区 第6分区 I M特別講演要旨

セイコウ・イシカワ ベネズエラ・ボリバル共和国 特命全権大使
Seiko Ishikawa

ベネズエラ生まれ 音楽教育 エル・システマ

「ベネズエラ」と聞かれても、「学校で一度、勉強したかな？」くらいでしょうか。しかし、ベネズエラと日本の国交樹立は1938（昭和13）年。2023年には、85周年のお祝いをしました。その国交樹立前から日本人の渡航は始まっており、初めてベネズエラに渡った人からは、95年が過ぎています。今日は、そんなベネズエラで生まれた音楽教育プログラム「エル・システマ（El Sistema）」をご紹介します。

ベネズエラって こんな国

私は日系二世です。父が沖縄、母が山梨出身。父は1950年代にベネズエラに渡りました。ですから私は、ベネズエラ生まれのベネズエラ育ち。その証拠と申しますか、日本語が母国語ではありませんので、お話しするうちにだんだん、日本語が怪しくなったらお許しを。

1950年代の沖縄はまだ、日本に復帰しておらず、父は経済的な理由で渡ったのかと思いきや……何と「冒険」とのこと。海外に渡った移住者たちの中には、冒険好きが交じっていたということです。とにかく新しいものを発見したい、見たいということで、わが父もそういう気持ちがとても強い人でした。ここ北海道にも、そのようなフロンティア・スピリットにあふれた方が多いのではないのでしょうか。

とはいえベネズエラ、日系人は多くありません。南米ならブラジル、ペルー、ボリビア、アルゼンチンでは「日系人多いですよね」とよく言われます。しかし、私の実家がある地域などは、日本人はわが家だけでした。父には「あんたね、周りに日本人がいらないんだから、日本を代表した気持ちで振る舞いなさい」と子ども時からずっと言われていました。今は反対に、日本でベネズエラを代表する

仕事に就いている私です。

どうも日本ではあまりに知られていないベネズエラ、まず国の紹介から始めましょう。美しいカリブ海に面した国土は日本の約2・4倍あり、人口は約2800万人。スペインから独立したことでも分かるように、公用語はスペイン語で、大多数がカトリック教徒です。意外かもしれませんが、ベネズエラの石油埋蔵量は世界で1番、あのサウジアラビアは次席なのです。天然ガスも豊富で金、ボーキサイト、鉄鉱石などにも恵まれています。

そして、どんな国でも最も大切な人という資源なら、今時のジェンダー論的視点から外れる、という指摘も受けますが、美しい人が多いのも事実で、いわゆるミス・インターナショナルなどの国際的なコンテスト受賞者の出身国は、ベネズエラが1番です。もう一つ、皆さんがよくご存じなのはアレックス・ラミレスさんでしょう。ラテンアメリカ人として初めて、日本の野球殿堂入りを果たしましたが、野球が盛んな国でもあります。

観光なら、カリブ海の美しさは当然として、世界で一番紹介されているのがギアナ高地、エンジェルスの滝があります。ほぼ1000メートル落差のある滝です。

最近では、雷でも知られています。マラカイボ湖という、南米で最大の湖上で発生する雷。数年前、ギネス記録で世界で最も稲妻が多い場所、として認定されま

SPEECH 4 69

ベネズエラ生まれ

音楽教育 エル・システム

ベネズエラ・ボリバル共和国 特命全権大使 セイコウ・イシカワ

この人訪ねて 9 64

中村辰雄 さん 相模原南RC(第2780地区)

記事・村井重俊 撮影・佐藤 敬

につぼんふうど 13 60

マメな南東北編 久保田英男

ロータリー 俳壇 ◆長谷川 權 選 14 59

ロータリー 歌壇 ◆馬場あき子 選 14 59

ロータリー 柳壇 ◆三遊亭白鳥 選 14 59

友愛の広場 16 57

SLファーストラン号 鶴ヶ島 渡辺道雄

クラブ一番の元気印 愛知友愛 天野元成

奨学生から生まれる縁 清水中央 黒田侑加

日本人平和フェローを激励する旅へ 横浜都筑 鬼嶋雄三

◆うちの子 鬼嶋雄三

卓話の泉 19 54

忍者の処世術 福島嵩仁

私の一冊 19 54

『自閉症の僕が飛びはねる理由』 茅ヶ崎 小澤雅彦

ロータリーあるある相談室 20 53

声 6月号の感想 21 52

今月号の表紙 — 多才な障害者アートをお届け

家族と訪れた思い出の場所、金閣寺をモチーフに、
寺を映し出す水面や周囲の緑まで
細かい線でたどるように描いていました。

支援スタッフ代筆

まるで金閣寺が迫ってくるようです。
寺、水、樹木、全てが踊っているようです。
田中さんにとって、よほど印象的だったんですね。
アートディレクション・五十嵐仁之



金閣寺

イラストレーション

にじの会／田中聖子さん
東京都三鷹市270×380 mm
画用紙、ボールペン、色鉛筆

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部／本誌の内容のお問い合わせ)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部／購読・注文)
<https://rotary-no-tomo.jp>



◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。
◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



学びと

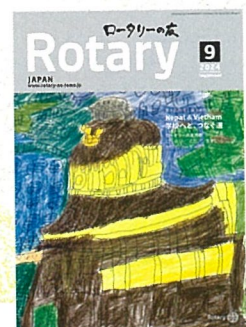
ひらめき。

会津と薩摩だけど仲良し
私たちは『友』で知り合った

私(相良)が地区の公共イメージ委員会のリーダーになった頃、その戦略について、どこに行っても誰に聞いても明確な答えがもらえず悶々(もんもん)としていました。そんな中、『友』で深尾さんの記事「広報のいろは」を発見！読み進むにつれ、目の前の霧がパアッと晴れました。この人なら！と思い連絡を取り、講師として福島に来てもらいました。深尾さんが友地区代表委員をしていることも知り、私もいつかと。昨年度ついにその夢がかない、全国の代表委員と友人になりました。

福島ロータリークラブ
相良元章さん

鹿児島西ロータリークラブ
深尾兼好さん



ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

9

2024

September

SPEECH

セイコウ・イシカワさん

ベネズエラ生まれ

音楽教育 エル・システマ

この人 訪ねて

中村辰雄さん

相模原南ロータリークラブ